京城日報
二十八日夕刊

○露國内反米熱熾ん

露國内には反米熱熾んにして多數の民衆は駐露米國大使館前に集合不穏の狀を呈せり（桑港電報）

○墺太利の離脱運動

墺國は獨逸との共同動作より離脱すべく運動大に勗めつゝあり

○支那財政總長決定

李經羲氏は二十七日財政總長に決定せり（北京電報）

○下院議長如何

衆議院議長は大岡育造氏に決定す可し（東京電報）

○憲政會幹部改造

憲政會は今次の總選擧に省み其最高幹部を改造す可しとの説あり（東京電報）

○政友幹部候補

政友會總務候補は元田肇、中橋徳五郎、野田卯太郎、小川平吉の四氏及び幹事長は河北茂輔氏の呼聲高し（東京電報）

○交代兵釜山發

滿洲駐屯第七師團長陸軍中將藤井幸槌氏及び仁禮副官其他同師團司令部附將校以下は廿八日午前二時、第廿六聯隊將校以下一千六百名は同七時及び午後二時釜山驛發別仕立列車にて滿洲に向け出發したり（釜山特電）

○花井博士等歸東

小林長兵衛等の談合事件辯護の爲め來鮮中なりし花井卓藏、勝本勘三郎の兩法學博士及び辯護士小川平吉、同大井靜雄の諸氏は廿七日夜釜山出港連絡船新羅丸にて歸東せり（釜山特電）

○土地賣却禁止

昨年中吉林省に於て日本人の買入れたる土地は密山縣に二十晌、懷德縣十七晌、雙城縣十六晌、五常縣十一晌、著なるが北京政府は滿洲の土地の外人の手に歸するを恐るゝ事甚しく國土保存の名の下に滿洲各省長に土地の對外人賃與を禁止す可き旨を密諭せりと（奉天）

○總督一行動靜

長谷川總督は二十七日午後四時三十分鏡城著、同夜は道長官々舎に宿泊し二十八日午前、道廳其の他の官署を巡察せる後午後羅南に向ふ

○總督歸任延期

朝鮮地方巡察中なる長谷川總督一行は五月一日歸任の豫定なりしも巡察の都合上一日を延期し五月二日午後歸任の事に決せる旨其の筋に通知ありたり

○調査局職員減

臨時土地調査局增置職員定員中改正の件は三十日附訓令を以て發布せられ同日より施行の事となれり本令に依り同局にては書記、書記補、技手の定員千三百三十二人を千二百九十九人とし三十三名を減員す可し

○御慰問使退京

内山侍從武官長一行は既定の如く二十八日午前八時三十分南大門驛發汽車にて退京せり一行は同日午後零時二十五分大田著大田部隊を巡視し當夜は中川旅館に一泊二十九日午後零時三十分同地發大邱に向ふ筈なり

○司令官邸張宴

秋山軍司令官は既記の如く二十八日午後六時三十分内山侍從武官長、東本願寺法主大谷光演師、南條、村上兩博士、大幸京城輪番、沼、沼波兩隷事等を官邸に招待午餐會を開けり總督府側よりは山縣政務總監以下各部長官、局長所屬官署の長、武官、秘書官等、李王職よりは閔長官、國分次官師團よりは立花師團長以下幕僚等參列したり

○ベーカー氏來鮮

加奈太太平洋鐵道會社庶務課長ベーカー氏は二十七日夜釜山發滿急行列車にて入京せり兩三日間滯在市中觀光の上内地に向ふ筈なり

○露貨換算率變更

日滿聯絡旅客運賃中長春驛著露貨運賃換算は四月中露貨百留に付日貨五十五圓八十六錢の所五月一日より五十六圓八錢に變更さる可しと

○赤十字看護婦授致

大邱慈惠醫院委託養成の赤十字社看護婦生徒五名は入學許可に決し五月一日より授業を開始す可き旨同地赤十字社支部長より朝鮮本部に通報ありたり

○京畿草生地貸付

京畿道金浦郡の内高村面及び郡内面の一部は從來國有未墾草生地として長く放棄し有りしが今回黄金町岡田榮外一名の出願に由り同地方百七十二町八段餘歩は悉く田に利用する目的を以つて貸付許可ありたりと

○機業功勞者表彰式

既記の如く京城機業界の恩人金德昌氏の表彰式は二十七日午後二時より商議樓上に開催さる此日松永道長官、金谷府尹の表彰事績演述、表彰狀授與、道長官の訓示、原田商議會頭の祝辭、金德昌の答辭其他を終り三時過ぎ閉式せり因に來會者は松永道長官、小松事務官、原田商議會頭其の他約四十餘名に及び盛會なりしと道長官の表彰狀左の如し

思想堅實品行方正にして夙に力を機業の奬勵に竭し其の功勞顯著にして範を鄕黨に示すに足る仍て閑院宮殿下御下賜產業奬勵資金に依り時計一個を贈與し其の功勞を表彰す

○甜菜試作擴張

南鮮にては勸業模範場時代より甜菜の試作に著手し其後地方の試作田を設け道種苗場にてのみ年々之を行ひ已に十箇年以上の記録を存せるが朝鮮甜菜製糖會社にても大々的事業開始の準備に著手し其必要一層大なるものあるより從來の道種苗場（大同郡古平面）以外更に中和、美林、力浦の三箇所に各三反歩の試作田を設け道技術官指導監督の下に種々研究を重ぬることに決定したれば降雨を待つて直ちに蒔付を爲すべしと（平壤）

○平南一部長出張

平安南道第一部長篠田治策氏は五月一日より向ふ十日間の豫定にて管内順川、孟山、德川の三郡行政事務視察の爲め堀北村、篠原三道託記を隨へ出張すべしと（平壤）

○農工債償還

株式會社慶尙農工銀行にては明治四十一年十二月二十五日（隆熙二年）發行第二回農工債甲號十圓券の内未償還のもの六千八百枚此の金額六萬八千圓に達し本年一月より四月に至る利息二十三錢と共に本月三十日元利金の支拂を爲す筈

南北滿洲

鞍山站の製鐵事業

南北滿洲視察團より　西海生

▲南滿洲に龍蟠虎踞し、鐵道に、港灣の經營に、地方の委任行政に、或は鑛山の採掘に、多事多端を極むる滿鐵の手廣い事業に就ては、滿洲紹介號に略述したから、再言の煩を避くる、唯茲には滿鐵の新計畫として、中外の視聽を惹き、滿洲朝今の人氣を萃めてゐる鞍山站製鐵事業に關する梗概の事の觀を述べやう

▲鞍山站は遼陽に近く溫泉を以て有名な湯崗子の隣驛である、其の停車場の附近に、滿鐵は本年度中約七百萬圓の興業費を投じ、第一期計畫として壯大なる製鐵所の設營をなさんとするもの、既に解氷後の事とて用地の買收は約百萬坪の廣袤を終り四月中に其の鍬入式を執行するの順序に至つてゐる、又製鐵用の機械其他は同社沙河口工場及び內地に於て盛んに造つてゐる

▲此の第一期計畫竣工の曉は一晝夜二百二三十噸の銑鐵を製し得る鎔鑛爐二基完成すると云ふから、乃ち都合四百五六十噸の製鐵能力を有する事となる、其の二基の内一基は明年五月頃に工を竣るべく、從つて其の火入式は竣工を俟つて擧ぐる他の一基は多分七八月頃となるであらう

▲製鐵所の經營に最も必要な原料は第一鐵合有の鑛石第二燃料として石炭、第三製鐵上の化合に必要な石灰石、第四用水である此の重要な四原料を鞍山站は何れより求めんとするか、其の便不便、利不利、量の多少は其の事業の前途に大なる關係を有するのであるが、聞く所によると、何れも稀有の位置にあり、立派な品質のものを得られるとは云へぬが相當經營に付有望な條件を具備してゐるらしい

▲第一の鐵鑛石は製鐵所附近の鐵山から殆ど無限に出る、其の總量は山岳の形勢、露頭の狀況より推算し僅に總量一億噸を下らぬ、從つて其の採掘可能期は、製鐵所第二期第三期に於ける擴張規模の奈何によれども先づ八十年や百年は極めて確かに繼續する事が出來る、而して鐵分の含有率は四十パーセントより六十パーセントの間にあり、これは製鐵上可能力を有する普通品であつて必らずしも良品とは云へぬらしい

▲然らば第二の石炭は如何、コレはお手の物の撫順炭並に本溪湖煤鐵公司の本溪湖炭を使用する事に極つてゐる、何しろ交通機關は會社のものであるから、其の供給には死んでも問題はない、又量も十二分である、第三の石灰石はすぐ近くの火連寨驛附近より六哩以上の良質のものを產すると云ふから、コレも顧慮を要せぬ、又第四の用水は、製鐵所位置の近傍に不幸之れを見出し得ぬから止むなく十二三哩の距離ある大子河若くば遼河より之れを引く事になつてゐる

▲乃ち鑛石は製鐵所の位置に存在するが、自餘の三原料は之れを他地より引かねばならぬ、唯他地と云つても其の距離の何れも遠からず、又自由の輸送機關を會社自身に有してゐると云ふ事は其の强味と稱して差支へない、外國の例を引くまでもなく、吾が八幡製鐵所の如き、其の鑛石を支那の大冶、朝鮮の殷栗並に載寧安嶽より遠く之れを送らしてゐる、が云ふ實例に鑑みると、鞍山站製鐵所と其の原料の關係とは如何なる狀態にあるかゞ了解せらるゝであらう

▲幹部の職工は夙に八幡製鐵所に依賴し、其の修練を積ましてゐる、來年になると其等の連中は續々渡滿の途に就いて來る、會社の方針として、二分の一內外は支那人を使ふ、職工は當初三四千名內外と云ふ豫定らしく、職工の住宅其他の設備は從來の經驗に徴し、最善の方法を講ずるらしい、乃ち來春になれば忽然として一寒村の鞍山站は新たな市街を成すであらう

▲製鐵は會社の沙河口工場で使用し、其他は營口を經て各需要地に積出す計畫と聞いた、以下鐵石の採掘の形式、本溪湖製鐵事業との比較等に付若干書いて見やう

○大阪より

▲昨今石炭市況　門司若松兩港にては近時帆船緩和されたるを利用し二等以下の粉炭を阪神地方へ輸送し來りたるを以て昨今稍や荷動きへの商狀を呈し居れるが就中元山炭の如きは需要の程度小工場向きに關係上一時の高値に比し約十圓方の下落を示し一方筑豐三等物に至りても工業製造工業等の不振のため需要の刺戟により下押趨勢を示せるが之に反し上等物は採炭不充分なると一部炭商の先高見越買占により益々反撥の氣勢を示し居れり

團員より　尹[illegible]

今回朝鮮[illegible]の御陰にて[illegible]遂げつゝ昨日[illegible]著致候。一行至つて健全を保す。然して各地に於て同胞の十分なる歡迎及び適切の案内、實に衷心より感謝に不堪候。又[illegible]氏の往昔の形跡及び大和民族の現今の偉蹟、又はスラブ人種の遠東經營の大觀を探聽して、頗る參考になる所多きを謹んで申し候（二十六日）

大阪ホテルにて　朴宇鉉

拜啓。[illegible]社長以下幹部諸氏の社員周到なる御注意に依り到る處滿足に視察を遂げ居候。[illegible]謹て奉拜謝候。[illegible]一同健康[illegible]御休神被下度候。明午後一時當地發歸途に就くべき豫定に御座候。右御報まで早々。（二十五日）

▲鈴木の新規計畫　鈴木商店は今回三井と提携し臺灣に於て瓦斯事業を一手に經營すべき計畫を樹て過般之が第一著手として臺灣瓦斯株式一萬株を總て多く商會より讓り受けたるが近く實現を見るに至るべしと

▲住友鑛山發展　住友鑛山部は事業擴張の目的を以て朝鮮方面の鑛山を物色しつゝあるが未だ適當の鑛區なきを以て更に支那某地方の鑛山に著眼し目下實調中の由

▲飲料水の賣行　季節來と共に清涼飲料水の需要漸增し帝國鑛泉の如き昨年末來本年の好景氣を豫想して約四割方の製產增加を圖り積極的商略を以て準備中なりしに豫定の通り去る三月末內地各方面よりの注文頻繁し目下盛んに未端準備中なり一般飲涼水に對する需要は四割五分乃至五割方の激增を示し居れど一方農家筋の需要減退したれば結局三割方の增加となる譯なり而して新方面の[illegible]に[illegible]其他に反で二割方の値上を斷行せるも諸經費原料の昂騰せるあり月末各品を通じて三割方の値上を斷行せざるも諸經費原料の昂騰せるありな販路の開拓も値上げも之れを相殺すれば格別の利益もなかるべしと（大阪支局）

平壤

▲實業青年會例會●　平壤實業青年會にては廿九日午後八時より同會館樓上に於て第九十二回總會を開く筈▲在鄕軍人總會●　平壤分會の本年度春季總會は愈々五月十三日演武場に於て開催す可く當日は懇親の宴を張り擊劍、柔道其他の餘興もあるべしと

大田

▲大田金融組合總會●　大田地方金融組合定期總會を二十六日午後一時より同組合後方の廣場に開會先づ一同著席組合長朴[illegible]の開會の辭佐藤理事の營業報告、役員改選等あり次に來賓金郡守代理閔口郡財務主任玉田畜產技手の講話あり閉會したり改選の結果組合長宋在成、德氏評議員村英司、宋元用、宋斗憲、朴龍來、李相賢、宋理憲、林炳[illegible]の諸氏理事には尹泳設、朴勝玉、朴大田組合の宋憲舜の三氏重任せり▲大田組合の配當●　大田地方金融組合大正第五年度の營業成績は利益金三千六百五十五圓三十一錢五厘、損失金三千十二圓七十一錢にして純益金五百九十二圓六十錢五厘の内三百五十二圓十五錢五厘を缺損補塡準備金に積立て百三十六圓を翌年度に繰越し殘百一圓四十五錢を（年七分）の利益配當に充當せり▲訓導の赴任●　高知縣[illegible]小學校訓導[illegible]は今般朝鮮公立小學校訓導に採用[illegible]四月廿六日著任せり▲中島校長赴任●　[illegible]小學校長に榮轉したる中島金[illegible]氏は廿九日出發赴任の筈▲第一回地主會●　大田郡に於ては去る十九日第一回地主會を開き[illegible]に開會したる第一回總會に於て評議員囑託となり諸案件に付協議の結果大正六年度事業に優良小作人を表彰する事等を決議散會したり▲送別會決定●　元大田警察署長橋本房一氏釜山に轉任に付大田の重立ちたる官民は來る三十日午後七時より料亭富士屋に於て送別の盛宴を張るべし因みに同氏は五月二日出發赴任の筈なりと

釜山

▲釜山府例會●　釜山[illegible]例會は廿五日午後七時より鳴戶本店に於て開會の筈なるが當日は會長及び幹事三名評議員十五名の改選を行ふ由因に同會員は一時約百名に達し居たりしも近時轉任韓居等の異動多かりし爲め現在會員は六十餘名に減じ居れりと▲洛東江利用調査●　釜山商業家の或る一派は釜山繁榮策として工業を隆盛ならしむるには先づ其給水の必要あるも現在の如く飲用水にすら時々缺乏を來すべき水道を待つ可らざれば洛東江の流域を釜山附近に導き使用水の供給を計ると共に擬築沿道の田畑の給水を爲すに於ては工業上大に利便あるべしとなし近々商業會議所に建議し調査を爲さしめんと運動中なり▲警務部長巡閲●　慶尙南道警務部長水間春明氏は二十九日來釜三十日は釜山警察署及び憲兵分隊を巡閲し翌五月一日馬山に向ふ

人事消息

▲大橋次郎氏（赤十字社及び愛國婦人會總會兼主事會に參列の爲め二十八日夜東上）
▲黑田長禮氏（總督府囑託）二十八日朝揚京
▲石川國幹氏（滿州慈惠醫院長）同上
▲早坂一郎氏（東北大學講師）二十七日夜入京
▲佐藤功一氏（早大講師）同上浦尾へ
▲栃内壬五郎氏（滿鐵產業課主任）二十八日朝入京浦尾へ

京都より　大塊

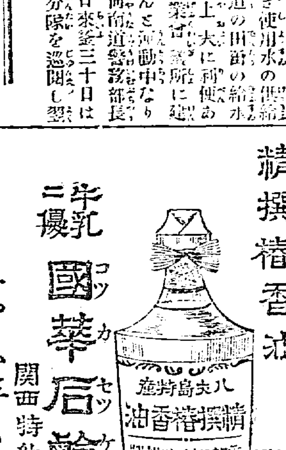
拜呈修羅の巷を脫も此處一日歸發明朝發東上の筈に有之候（四月廿五日）
葉櫻や此處も仙鄉の嵐山

支那論
愛山山路彌吉著（定價六十錢　郵稅六錢）四六版全一冊三百三十頁
世界人口の四半を有する大國支那の現狀は今如何ぞや。一亂治まりて一亂又生じ、內政の紛糾、外交の危殆、實に名狀すべからざるものあり。支那研究の盛なる又故ありと謂ふ可し。然も未だ[illegible]。著者は新の一大著作にして、支那の[illegible]政治的論評を下したる明快透徹の[illegible]將來並に關する日支關係論あり、更に[illegible]特性並に優劣論あり[illegible]論あり[illegible]所論は評論中[illegible]又は「[illegible]」を附し[illegible]功論[illegible]細な[illegible]一國[illegible]
發行所　東京[illegible]　電話番東京一三〇〇　民友社
發賣所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六　東京パイン萬年筆出張所

移轉廣告
今般京城大和町一丁目四十四番地に移轉致候
元京城長谷川町五十八番地
株式會社大倉組鑛山部京城出張所

買鑛廣告
金、銀、鉛、亞鉛、銅鑛買入開始
荷受場所は京釜線鷺梁津驛
鉛亞鉛鑛は混合又は低級品位のものも取扱可申候
神戶　合名會社鈴木商店
京城本町二丁目　京城出張所鑛業部
電話　一四二二番　二三九〇番　二九二四番

八丈島特產
精撰椿香油


牛乳ニ優ル　國華石鹸
關西特約店
みやこ紅　白粉都ノ雪
本舖　紅清號
京都　紅清號ニ注意有

瓦値上廣告
今般燃料騰貴に付不得已左の通り値上仕候
▲並瓦　價格一枚に付　金參錢四厘
大正六年四月二十七日
京畿製瓦組合

花、花、花、花、花、花、花、花、

花の牛耳洞へ
□加五里へ續く櫻の道□

午に近い麗日が、東小門内の南西に面した斜道を照らして居る、路の兩側は眼のとゞく限りに

♣**櫻桃の花** が咲きこぼれて雪のやうだ、自動車は雪のやうなユスラの花の中を曲つた阪路を登つて行く。自動車には日本麥酒の山田氏と遠谷、梅垣の兩氏それにはわが漫畫氏と斯く申す記者とである、吾々は白や桃色の花咲き滿ちたユスラ

♣**畠の上を** 飛ぶ胡蝶のやうに馳走し東小門を右手に見て切通しの路を城外へと出た。城外の春は既に一面の緑だ、水の濁れた白沙の流れに沿ふて目の覺めるやうな柳が遙かに河に沿ふて續き、雪のやうに

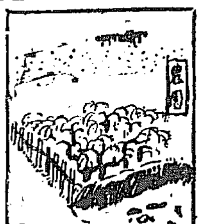
♣**白く鷺毛** のやうに輕い柳絮が、ふわ〳〵と飛び散つて居る、此の邊から青鐵色の北漢山の岩が屏風の畫のやうに展がつて行く、李王職農場も、京元道路の松並木も、奔流のやうに左右に馳せ去つて瞬く間に自動車は加五里に著いた

♣**砂塵と風** とで、息も吐けなかつた一行は櫻の下で一と伸びして花の香りを吸ひいれた、花は兵ッ盛りだ爛漫とか絢亂とかいふ外に形容しかたがない、加五里の花は稻垣農場の果樹園の周圍に咲いて居るのだ此の農場主任の須藤といふ人は熱心の

♣**花の紹介者** で捕つたら大變に長いお講釋を聞かされるだが生憎留守であつた山田氏が農場の便所が風雅だといふので寫眞機に納める『これで仕上ると誰も便所だなんて思ふ者はない、床の間に掛けたつて大丈夫』だなんて云つて居る加五里の花も日曜頃には盛りが

♣**聊か過ぎ** はしまいかと案じられる、何にしても、腰掛茶屋は夥しい事だ、加五里から牛耳洞には花が續いて居る、途中自動車を乗り捨てて間道を進んで行く、漫畫子

♣**四五本美しく咲いた櫻の下で** 丸裸が四五人大きな握飯をたべて居る山の陰からヒッコリ吾々が飛出したので口の握飯は喉へも通らず外へも出されず眼を白黒させて居るので恐縮して足早に行き過ぎると人の



悪い漫畫子は早速『花より團子』と題しスケッチにして終ふ牛耳洞の花も

眞つ盛り だ、谷にも澤にも與の見通しの付かぬ程に花は咲き充ちて居る花は咲いたがお花見客は少ない『本願寺様が京城へ見ゑられたり、南山のお天神様のお祭りやらで今年の牛耳洞は不稔でさあ』と花見茶屋の爺はこぼして居つた、牛耳洞の

花は色々 だ濃艶の花清淡の色、香りの強いもの、莢に咲いたもの、花瓣の大きいものなどいろ〳〵だ、御同行が麥酒會社だけにビールの滿を引いた茲に於て麥酒會社を惡く云ふわけではないが

□**加五里と** 云ひ牛耳洞と云ひ賓に花よりもビールの廣告の方が多い廣告の爲めにスッカリ風景は打ち壞しだ、k君と自分とは遠くに見ゆる谷合の花を尋ねて登つて行くと其處に朝鮮家の一軒が有た一寸覗いて見ると素敵な美人が米を搗て居る美人と云ふ者は何をしても好いものだ、米を搗いて居るのを見てもそれが、何んだか高尚なのよ君は路々矮生菖蒲の花が『奇麗だ見捨ちや置けね、己れは櫻よりも此方の花が可い』と道草を喰つて居る牛耳洞の入口に

□**優美な舞** のやうに見えた漫畫氏のk君など見惚れて終つて何んと云つても此家の前を立ち去らなかつた、やうやく引張り出して裏手の山に登ると此の邊にも花は一杯だ『色の白いのは年増櫻で紅いのは娘櫻てわんだ』と漫畫子が學名を付ける天道教の何んとか云ふ男の構内に

□**老樹の櫻** が頗る見事に咲いて居る『無用の者入るべからず』と新らしく書いてペタ〳〵貼り付けたのは中に住む男の無風流の程も知られた、歸り道は若いおかみさんも乗合で午後四時頃京城に歸著した（ＣＫ生）

♣**お花見の道筋** 牛耳洞行きは本社が屢々報じたる通り京元鐵道に由り倉洞驛に下車する

一線と東小門を出で自動車或は又は徒歩による一線とあり、京元線は鐵道局にて南大門倉洞驛間に二十九日

♣**花見列車を** 運轉して居る倉洞驛に下車すれば鐵道局の休憩所も設けてあるし當日は幾萬の花見客が行から初ての者でも道に迷ふ案じはない道は一里足らず極めて平坦である汽車賃は三等往復四十五錢二等往復八十錢なりと東小門線は二里半あり健脚家には適當の散策距離なり

♣**乘合自動車** は京南自動車及び京春自動車より出し往復一人二圓腕車も往復二圓內外なり牛耳洞と加古里の間は極めて近距離にして徒步にて二十分位にて達せられ此の間櫻咲き續けり

●數千の信徒に見送られて
大谷光演師仁川へ出發

熱誠なる信徒の歡迎を受けて二十五日以來京城留錫中なりし東本願寺法主大谷光演師は宗祖上人遠忌法要を滯りなく了へて二十八日午後二時四十分南大門驛發

◆**仁川に** 向はれたり、停車場には到著の時と同じく秋山軍司令官、山縣政務總監代理立花師團長を始め總督府側の各大官、信徒總代、一般信徒、佛教婦人會、愛國婦人會、信友會、教友會等の見送り頗る多く數千に達したるが

◆**發車前** より漢陽公園にて煙火三發を打上げて之れを合圖せり法主は連日の奔走に疲勞の風も無く南條博士、栗津家從と馬車に同乘、定刻十五分前に同驛貴賓室に到著暫時少憩の上此處にて

◆**主なる** 見送りの人々に對して懇篤なる挨拶を交し、滯留中の斡旋を謝したるのち一瀬驛長の案内にて歩廊に出で構内に溢れて押合へる信徒に對して會釋しつゝ出發せるが同列車にて大幸京城別院輪番

◆**その他** 信徒總代數名は仁川まで見送りたり

♣牛耳洞行汽車

牛耳洞觀櫻臨時列車は本日南大門倉洞間に左の時間に運轉せられ賃金は三等四十五錢二等八十錢

▲往き 南大門發	午前	八、四三
龍山發	同	八、五二
倉洞著	同	九、三〇
▲歸り 倉洞發	午後	三、四〇
龍山著	同	四、一六
南大門著	同	四、二五

臨時列車は三等客車のみにして雨天の場合は中止する由なり

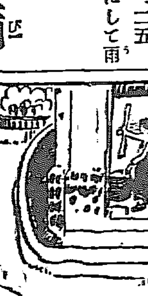
♣お花見客さ本社の設備

▲**遠慮なく立寄られ度し** 本社は牛耳洞及び加五里の花見客の便を圖り兩所共に二張宛の天幕を張り休憩の設備を爲し、茶の接待を爲すを以て京城日報及び毎日申報の記號ある天幕を尋ねて遠慮なく這入つて休憩せられ度し

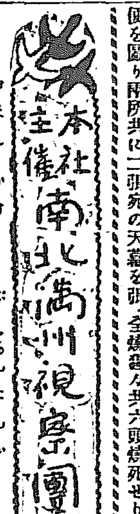
●廿九日の天氣

昨日來揚子江口に現はれたる低氣壓は朝鮮半島へ侵入し南鮮地方を廻遊せる爲めに朝鮮全道雨を催し就中慶尚南道釜山方面に雨量最も多く京城附近は示度十四耗を示せり雨は一般に二十七日午後八時頃より同十二時頃まで最も烈しく低氣壓は今朝未明に江原道沖合に現はれ七百四十耗の深度に達せりかくて二十七日來降り初めたる名殘の雨は各地に降りみ降らずみして二十八日正午頃に降止みたり該低氣壓は二十八日正午頃より北海道へ進みつゝあれば二十九日は天氣快復の見込みなりと

●猩々と猿の燒死



京都市動物園二十七日出火猿の一棟全燒猩々共六頭燒死せり（大阪特電）



◆大仕掛の撫順炭坑
美しい渾河々畔の春色

二十七日朝奉天驛を出發したる一行は午後一時四十分撫順驛に到著、驛頭撫順炭坑の首腦者始め官民有志の出迎を受け全員專用電車にて撫順炭坑の見物に向ふ一行は先づ電車線路に沿ひたる

□**市街を始め** 千金寨坑、大山坑の大櫓を眺めつゝ四國橋附近の水道貯水地に赴き此處にてタービンポンプの吸水機關を始め渾河々畔の春色を賞す、次いで揚白塁坑より老虎臺坑を看つゝ東鄉坑に至り萬有現代の機械力に依れる大縱坑（九百廿五尺）の大設備を看る殊に坑内

□**百尺の大櫓** に於ける卷場の壯觀をはじめ選炭場、旋風器室安全燈室、機關室、繰込場等の大設備に至りては一同機械力の偉大さに感嘆の聲を漏し坑內諸般の見學巡覽を了りて撫順小學校の茶話會に向ふ會場にては先づ鑛務課長の講話を聽き終つて山上庶務課長の挨拶あり次いで團員を代表して尹致昊氏の謝辭あり

□**主客歡を盡** して談笑したる後一同は更に古城子の露天掘大坑區を見物し午後六時二十分撫順驛を出發せり尚ほ奉天へ引返す途中に於て團員中の韓致愈氏の滿洲見物に關する感想談あり一同此の滔々たる熱辯を聽きて拍手喝采鳴も止まず、汽車は歡談笑語を乘せて午後八時過ぎ奉天驛著、更に五十分發の列車にて一路安奉線の

□**五龍背温泉** に向ふ温泉著は二十八日未明の豫定なり沿線は烈風吹き荒み光景轉た悽愴を極む（二十七日午前〇時三十五分特派員金谷眞發）

▼一行五龍背温泉に到著

二十七日夜八時五十分奉天驛を出發したる一行は奉天平野の黄風を衝いて風光絵の如き安奉線を南下し二十八日朝六時一路平安五龍背温泉に到著せり一行は此處にて南北滿洲半箇月間の旅塵を洗ひ正午本觀察團の解散式及び盛大なる園遊會を催し二十九日午前六時出發、同午後七時半南大門驛著此處にて目出度く視察團の大團圓となるべし（二十八日午前六時二十分特派員金谷眞發）

●群山の射撃會 在郷軍人群山分會主催となり群山月明山麓に會場を設け二十二日午前八時より[illegible]

●釜山金物組合運動會 釜山金物商組合二十一店主並に店員等一百餘名は來る廿九日休業なし東萊温泉場に[illegible]

二等客 一等（二名）英國人二名 二等（四十三名）[illegible]

三等（二百四十五名）

四月廿六日午後九時入港壹岐丸[illegible]

四月廿七日午前九時入港新羅丸[illegible]

[illegible]

三等（九十四名）

●暴風警報（四月二十八日）[illegible]

天氣 くもり

曇り後晴れ（廿八日午後六時發）

商況

債券現物特電（二十七日東京）[illegible]

京東公債直取引特電（二十八日出來値）[illegible]

深川在米特電（二十八日現在高）[illegible]

東京期米特電（二十八日前場）[illegible]

大阪株式（二十七日後場）[illegible]

大阪期米特電（二十七日前場）[illegible]

下關期米特電（二十八日前場）[illegible]

雜報

●臺灣材入らむ [illegible]

●一般建築用材 弗々使用 [illegible]

直移入 充分の割安 [illegible]

●正米は雨崩れ 方の下値に崩れ 附値五六十錢 [illegible]

●殆ど金の雨 倘雨量不足 [illegible]

叺約一萬五六千 五萬叺內外に上り殆ど非常の滿腹 [illegible]

●降雨ご麥作 [illegible]

死の麥作も之より蘇生 事一般に差 [illegible]

●鑛力板更に高報 昂騰又々五圓內外 [illegible]

●砂糖稍氣直る 維持 當分現狀 [illegible]

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 [illegible]

新茶は漸落 錢引締め居れり [illegible]

賣出し山城産 一圓を以つて [illegible]

京城正米 [illegible]

買附けに案外多數に 漸く滿腹 [illegible]

見當は倘雨量足 約五十錢安の [illegible]

双方見送り [illegible]

京城雜穀 [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

仁川現物市場 [illegible]

釜山穀物（廿七日）[illegible]

大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話九〇九四九二三

仁川期米 二十八日前場 [illegible]

大阪前寄十七圓 十三錢と昨止より三錢 [illegible]

高の入電 [illegible]

大阪五節十四錢 跡高見込の移り [illegible]

森仲買店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

市場零聞 [illegible]

▲依然保合ひ [illegible]

硬報も昨日來の降雨により買氣を殺ぎて戻り例の手筋より賣物顯れ [illegible]

▲前場の手振 [illegible]

▲全能く賣る [illegible]

▲全能く買ふ [illegible]

田中倉平商店 電話長一六二八番 [illegible]

▲今能く買ふ [illegible]

▲(て)の箇內 [illegible]

▲(イ)の箇內 [illegible]

▲(り)の箇內 [illegible]

▲(ロ)の箇內 [illegible]

▲當限納會す [illegible]

十三圓十一錢と跳返し大解合成立 十二圓九十錢 [illegible]

▲二十八日前場 [illegible]

暴落 七十三錢に過ぎ 此間高低値巾僅に [illegible]

確實 迅速 廣澤正次郎 [illegible]

▲當限受渡高 [illegible]

▲立會時間改正 [illegible]

仁川米豆取引所 二十八日の六月限 [illegible]

…會を…したる…山…郷軍人會員九十一名特別會員十一名來賓五十餘名にして其外參觀者多數に上り頗る盛況を極めたり（釜山）

…る害にて鯨…其他準備中なりと（山）

●連絡船上陸客 四月廿六日午前八時四十五分釜山入港高麗丸一…

…名みつ、阿部はる、村田れん、…井…、…勇太郎、原田安治、小野藤太、松下牧男、平野久三郎、小池德藏、山崎はる、新山五郎、今村ただよ、江城ふじ、同よし、松本いち、同きみ、香川忠治、杉山貞二、内田貞二、内田幸藏、同ますみ、岡山市松、端貞勝男、同弥子、同花子、山岡つれ

二等（十八名）…、…、前田恒太郎、…、佐々木…、…井政太郎、川野勝五郎、…與七郎、…、川原田…次郎、…、同かれ、大毛芳夫、小村幸明、同千代子、同銅郎、同千重子 三等（九十五名）

子…弁…、清水…、…源次郎、…彦太郎、…、同ひろ、吉村やす、…、古林具三、一…、同あき、…

●我社大野遊會の當日は 奉恩寺では遠忌大法會

頗る莊嚴なる古代佛式の盛典

來月の第一日曜日！五月六日に大々的に鷺島で開催さるゝ本社主催の家族的大野遊會は蓋し今春掉尾の大快遊であつて我愛讀者諸君も十二分の行樂を盡す事が出來ませう大抵の此雨で落花になりました事はお互に遺憾千萬でありますが併し鷺島の海棠！林檎の花は此の雨で一層の活氣を帶びて六日の日曜日は必ず滿開であります七十餘町歩の花の海唯其れのみでも花見として充分の名所である大果樹園内に縱横に馳せる極平坦な廣い道は全く花の隧道と化しまして急がず園内を散歩すれば一日はかゝります右も左も前も後も幽艷な林檎の花に混じて梨の花も澤山ありますす其の花中で一日を遊び暮すも好いのでせうが更らに大漢江の清流を渡ると閑古鳥の鳴いて居る奉恩寺と云ふ寺があります鳥渡此の奉恩寺に就て申上やう

■新羅時代よりの名刹大伽藍

抑も此の奉恩寺は現に朝鮮に於ての禪苑の甲刹であつて今より四百五十餘年前李朝明宗の時京城大漢門前（皇華坊）にあつた有名な首禪宗興天寺をも合した處です彼の當時之れも城内にあつて有名な首敎宗興德寺後に此の寺は楊州の奉先寺になりましたものと共に禪苑の甲刹こして天下有名の名刹であつて開基は今を去る事千四百年前新羅訥祇王の丁酉新羅の高僧阿度和尙の開山であつて降つて今より八百年前高麗德宗大王の壬申高麗の高僧法鏡國師の中興となり彼の道聲支那四百餘州に轟いた禪海の大聖高麗太古王師が臨済派を傳へたのも皆此寺である且四溟堂と號して朝鮮禪苑に高名を馳せた禪敎統領西山大師も此の寺に居た奉恩寺は隱れたる斯る名刹である現時の住職は之れ亦朝鮮で有名な羅晴湖禪師である今でも佛敎專門の講堂があつて沙彌科二ケ年初等科三ケ年中等四ケ年の學級で多數の人材を養成して居る

現存して居る建物は 大雄寶殿、大香閣、華嚴經板殿、禪院、靈山殿、尋劒堂、冥府殿、雲霞堂、山神閣、管廰堂、天王殿、降仙殿、獨聖閣、小香閣の諸建築で殊に華嚴經板殿には華嚴經、維摩經、寒山詩、初心發心自警等の澤山な板木が納められてあるそれで見ても如何に奉恩寺が由緒ある大名刹であるかと明かなのである

■名僧集會し祖宗遠忌大法會

而して同寺では春秋の二季奉恩寺歷代祖師遠忌法會と云ふものをやる歷代祖師とは即ち前に述べた阿度和尙、法鏡國師、太古王師、西山大師以上四人の遠忌法會である今年は丁度我社の大野遊會當日頗る盛大に開催さるゝのである勿論同寺は禪苑の甲刹であるから當日は卅本山委員長と云て高名な朝鮮第一の巨刹慶尙南道梁山の通度寺の住持金九河師を始め前委員長たりし水原華山龍珠寺住持姜大蓮師も臨席し其他六十餘箇の末寺の僧侶も皆集合し寺の寶物を開帳して諸君の自由の觀覽に供する事となつて居る諸君は花の鷺島の風光を恣にして漢江の沿岸の勝景を貪り更に人外境の如き仙宴に於て此の最も盛大な内地人の目には最も珍らしき大法會を見、寺院の珍奇なる寶物をも觀覽する事が出來る而も同所迄は京城から最も近い距離であるから老人でも小供でも何人でも自由に行かれますのみならず我社の此の大野遊會には一文も會費が入りませぬ、費用と云へば電車賃と漢江の渡船代丈けです京城近郊で斯る安價な家族的な大野遊會が又たとありませうかもとより來會は隨意ですから一家總出で徂かんとする陽春一日を愉快に送るの人生行樂の最上のものではありませぬか

◆南北滿洲視察團畫報（八）

（上）廿四日哈爾賓東淸鐵道俱樂部前にて團員一行の記念撮影（下）廿四日午後六時哈爾賓居留民公會の歡迎會

◁視察團より▷

▼色彩鮮かな服裝の露兵 哈爾賓まで

◇滿鐵醫學校生徒 ◇大きな陽氣な列車 ◇日露支三國接觸地 ◇熟くて美味い紅茶

◇湯崗子の温泉は廿三日の夜半午前三時といふに出發北行の汽車で哈爾賓に向ふ

◇奉天は朝の六時過ぎ通過、鐵嶺は朝の八時過ぎ通過、昌圖は十時、公主嶺は正午、北進するに從つていよ〳〵蒙古臭く露西亞臭くなつて來る

◇鐵嶺では最近新設された鮮人學校の生徒が出迎へた、學校は京城の商家洪承祖氏の設立せるもの從來の熱心に動かされて入學する相で鮮には約百名ばかりの生徒が萬歳を三唱した＝服裝はロシヤ服も居り支那服もあり周衣もあつた

◇四平街の手前からは一人の日本守備兵が乘り込むだ、兵士は窓外を指しながら『あれが日露の假休戰條約を締結した處、あすこが滿洲軍總司令部のあと』といろ〳〵說明して淋しい狐色の原に降りて行つた

◇長春に著いたのは廿三日の午後三時半、驛頭には盛んなる爆竹の音が轟いて玉木領事官補をはじめ滿鐵の人々や新聞通信員諸氏の盛んなる歡送迎があつた

◇長春驛はいよ〳〵滿鐵の最北端大連から四三七哩程を北進して來た譯である、お向ひは露西亞の東淸鐵道でその大きな陰氣な列車は一行が乘るとすぐ發車した

◇寬城子驛には十分ばかりして到著、プラットフオームを見れば鼠色の小服に眞紅の肩章をつけた露兵や紫色の服に金色の肩章ある兵士、とにかく色彩の極めて鮮やかな兵士が三々伍々往來する、それにまた赤襟に金の星章をつけた支那の士官も居つて兵隊の服裝が明かに日露支三國の接觸地なるを首肯かしめる

◇窓外を見れば總て之れ松花江畔の沃野であると云ふ畑は眼の限り天に迎つて土の色はすべて黑い、それに點々支那人家屋や林もあつて小麥や大豆が頗るよく出來るといふ

◇やがて夕力となつた、遠く地平線の彼方には紅い〳〵夕日が沈む、松花江の鐵橋前に來ると客車の入口に大きな露兵がやつて來た、しかも長い銃劍を銃の頭にくツつけて居る

◇ヅアラアストウイツチエー＝手を差し出すと歐露の國民軍らしい老兵士はニコ〳〵しながら握手した、そこへ金ピカの車掌君が來ると兵士は不審相に此の百名の日本人に就いて訊いて居た、車掌が何かいふと『ダ、ダ、ダ』（さうか〳〵）＝と肯いた、

また大きな給仕は一行の辨當殼を掃き出しながら『ボシユーカ〳〵＝（小包〳〵）』と洒落をいふ

◇處々の驛ではまた茶店に立寄つて大きな湯沸から熱い紅茶をのむ、露西亞のチヤイ（お茶）は頗る美味い、中には鷄の丸焼を『六塊』と呼びあるく支那人も居る

◇夜十時双城堡といふ驛では在留民總代樹谷孫三郎氏及び日本赤十字社…氏の出迎があつた、兩氏は馬賊の出沒する夜の道を態々から引き返した、また哈爾賓官民の代表者として以前朝鮮の咸南道廳に居た須永寄助氏が出迎へられ鮮人代表としては李珍玉氏と金致恒氏が迎へた

◇汽車は遙かに三日月と星が垂れ下つた大野原を駛りつゝ夜の十二時過ぎ哈爾賓停車場に著いた、入口の青いアーク燈の下伊藤公がこゝでやられたといふプラットフオームには黑澤總領事はじめ官民多數の出迎へ者があつた、馬車は一行を乘せてキタイスカヤ街の日本人旅館に著いた（二十四日哈爾賓にて金谷生）

●賑しき玉葉畫會

京城ホテルに於ける玉葉個人展覽畫會は開會當初より雨雨なるにも拘らず觀覽者引きもきらず、而かも其の大半は夫人令孃に占められ居り作品は何れも多大の好評を博し既に殆んど豫約濟となり注文再注文の赤札を貼れるものさへ尠からず二十九日は最終日にて、日曜の事なれば定めて盛況を呈すなる可し

●素人義太夫初日

既報の如く素人義太夫聯合大會は二十九日午後六時より壽館に於て開會の筈なるが常夜豐澤龍糸、竹本皆登、竹本奈良梅、鶴澤小庄、竹本梅若各連中の出演にて番組は次の如し

▲御祝儀梅若▲指揮崇段組天神堤の段見雀（龍糸）▲播州皿屋敷鐵山館の段登鶴（皆登）▲時雨の炬燵紙治内の段陸駕（綠小庄）▲戀娘昔八丈城木屋の段製（綠奈良梅）▲御所櫻三段目辨慶上使の段旭昇（綠小庄）▲繪本太功記妙心寺の段晴月（綠龍絲）▲菅原傳授手習鑑寺子屋の段相經（綠梅若）

◎聖公會（南米倉町） 二十九日午前九時三十分聖餐式說敎『クリスチヤンの奉仕』一色司祭午後一時日曜學校午後八時晩禱傳道說敎委員

花見のお辨當

花見時の花見の辨當は重詰その外別にこれといふ工夫もなく中には隨分手數のかゝつた獻立もありますが、別段客用といふでもなく、ほんの家庭だけの樂みとしては第一に手數のはぶけ、第二に量のたつぷりとした方がよろしいと思ひます

△うま煮（一）芋の子をうでて、適宜に切つて若汁を味淋、酒、醬油にて味をつけ、この汁の中へ蕗を落させて入れ、汁の出ねほどに煮ます（二）慈姑はうでゝ二つ割りにして、右同様の味をつけ、これは蕗には及ばず（三）蕗もうでゝ、右同様に煮ます（四）烏賊は二つ割にして皮をむききざ〳〵の切り目をつけ、酒、醬油を割りして下地にけて、串をうち焼きます、二度ほど汁をつけます（五）玉子は幾つでもよいのですが、手數ですからうでゝ、皮を剝き、糸にて三つくらゐに切り鹽をそへます、すべて野外の辨當は少し醬油より鹽の勝つ方がよろしうございます

△菠薐草の海苔まき 菠薐草をうでゝ、醬油であらひ、少し絞り有明の海苔をやきて、親指ほどの大さに巻き、五分くらゐに切ります、この外に香の物は奈良づけ、紅生姜などこれと共に添へます

△飯の内 御飯を型にて抜き、胡麻鹽を振りてふりかけます、これは型がなければ握りてもよろしいのです、型でぬけば手數もなく、綺麗でございます、以上を折二重にして、これに番茶を次立て、瓶につめて携帶します

法人登記公告

商號 株式會社開城電氣株式會社 設立登記公告 本店 京畿道開城郡松都面滿月町八百七拾七番地 目的 電燈及電力供給事業並ニ之レニ附帶スル一切ノ器具ノ販賣貸付ノ營業 設立ノ年月日 大正六年四月…日 資本ノ總額 金五萬圓 壹株ノ金額 金五拾圓 各株ニ付拂込ミタル金額 金拾貳圓五拾錢 公告ヲ爲ス方法 朝鮮總督府官報及所轄裁判所ノ公告ヲ掲載スル新聞紙 取締役ノ氏名住所 京畿道開城郡松都面…番地 金基永、同道同郡同面…番地 金元浩、同道同郡同面…番地 孔聖學、山口縣…、…… 監査役ノ氏名住所 …… 存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿貳拾五個年 京城地方法院開城支廳

平康地方金融組合登記事項中出資一口ノ金額ヲ…變更ス 大正六年四月貳拾七日登記 京城地方法院鐵原支廳

春川地方金融組合登記事項中變更 組合長李東根監事李起鍾李昌植任期滿了ノ處大正六年四月貳拾五日再選重任シ…… 大正六年四月貳拾六日登記 京城地方法院春川支廳

汶山浦地方金融組合登記事項變更 一、出資總口數ヲ參百七拾五口ニ、拂込ミタル出資總額ヲ金八百八拾九圓四拾貳錢ト變更ス 一、監事任期滿了ニ付大正六年四月貳拾貳日改選ノ結果左ノ通リ當選就任ス 坡州郡泉峴面法院里五百八拾五番地 白… 坡州郡臨津面汶山里六拾九番地 李泳… 坡州郡臨津面汶山里百貳拾參番地 金在… 右大正六年四月貳拾六日登記 京城地方法院汶山出張所

告 京城分會員

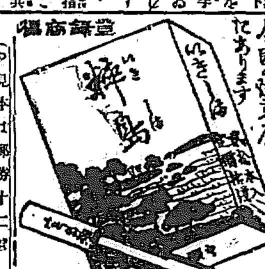
來三十日倭城臺に於て京城府主催招魂祭擧行相成候に付分會員は午前十一時迄に分會旗の下に集合相成度 帝國在郷軍人會京城分會

東京全部 大阪府を中心として

誰れも彼れも 到る所で……今賣れ行盛んの……

煙草代用『輝島』はコレ

全國の煙草店にあります



登錄商標 見本は郵券十二錢

東京本所二の橋角 煙草代用『輝島』專賣所

關西總轄支店 大阪市東區久寶寺町四心齋橋筋 長電話本所三六八六 振替東京三一五三九

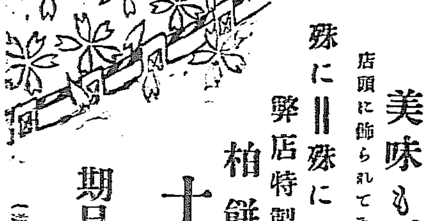
大阪神戸京都名古屋門司博多熊本丸龜橫濱水戸小田原仙臺大連に出張店

新形の 夏の帽子

ムキワラ帽子 ヘルメツト形 鳥打帽子 パナマ帽子 男女小供帽子

其他珍形各種帽子取揃申候

京城本町 塚谷出張店 本店 東京神田南神保町



花の見頃に 花の如きお菓子の美味も、珍味も 店頭に飾られてゐます

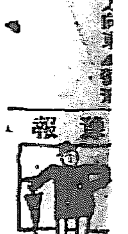
殊に‖殊に 弊店特製の 柏餅は破格 十錢に十三個 差上ます

期日は（明二十九日より）十日間 早くいらして下さい

（浮菓其他御注文次第見本持參仕可候）

內外製菓卸小賣商 京城本町四丁目 門田朝鮮堂 電話一六八六番 振替京城三三四一番

京城…全部沿岸…



●京城温度 三月廿八日正午 …

明君道中記

第百廿九席 田邊南龍口演

家光公は松平越中守定綱の輿物に召して先供といふので、石橋の本陣を正午に出發いたしまして道中は矢を射る如く急ぎ急いで參りました早や幸手栗橋の間一名鰻畷といふ處まで參りますと、最早彼是夜の五ツ時十五日のことで滿月でございますから一點の雲もなく玲瓏と冴へ渡り宛然銀盆を研ぎすましたるが如く光々と輝やいて居ります、御供方の人々は大きに疲れた故此處にて暫時休息をいたさんと御輿物を其處へ御して休息すると、思ひもよらぬ右の方の土手影より七八十人の曲者が討つて出で將軍の輿物を臨みました、偖此の曲者といふは何者でございますか、お話しは前に戻り宇都宮城内に御名代の板倉内膳正一泊し其翌日茲を出立すると、本多家の城代家老の川村靭負が上野介の御前へ出で 靭『恐れながら靭負申し上げまする』 上『何事じや』 靭『隱謀は露顯をいたしました』 上『何で露顯いたしたか』 靭『將軍家が兵近き石橋宿まで參られ病氣と名付けて引返し板倉殿を御名代として當城内へ遣はしたは是正しく露顯いたしたに相違ございません』 上『イヤ〳〵上樣は假の御病氣にて御引返しになり無據板倉を名代といたしたのである、決して露顯はいたさぬ、又釣天井のことは飽まで祕密にいたし居ること故知れよう筈がない』 靭『天知る地知る人知つて我知る、知れまいと思ふは愚なることゝ』 上『然らば如何いたせば宜きや』 靭『申すまでもございません、殿は遂に御切腹遊ばせ、手前御介錯いたして御首を提げ井伊掃部頭前老殿の許へ訴へ出主人亂心致したと申して此陰謀を祕し御子息を以て手地也三分一也御家の再興を願ひます。後々のことは靭負が宜しく取計ひますれば御心配なく御切腹遊ばす樣との御意見、然れども上野介は却々背入れません、乃で靭負も詮方なく 靭『此期に及んで御決心もつかず御猶豫なさると云ふは何事でござる、然らば手前に百五十人の屈竟の若者を御貸し下さる樣』 上『それは易きことであるが其の人數を伴れて何處へ參る』 靭『申すまでもなく露顯いたして見れば最早それまでのこと、毒を喰はば皿までの例へ必ず將軍家は今宵の内に江戸表へ御引返しになるは知れたこと、途中屈竟なる場所を見計ひ其處に伏勢をいたして突然に討つて出で、恐れ多くも將軍家を討ち奉らん』 上『成程、其方の計ひ最もである、然らば人數を貸し遣はすによつて途中に待受け討ち取れ』 靭『畏り奉る』と右百五十人の屈竟の者を從へたが大勢にて押して行かば知れます故二人三人位づゝバラ〳〵になつて日光街道の裏道鳥山街道を押して參り先へ廻つたのが幸手栗橋の鰻畷、百五十人を二ツに分け土手の左右に身を伏せ、何れも覆面頭巾黒扮装薙刀の得物を押取つて今や遲しと待かけて居りました。處へ道中筋へ出して置いたる斥候の者が立歸り將軍家は松平越中守の輿物に召して程なく此處へ參りまするとの注進に川村靭負 靭『ヤア〳〵方々最早將軍家の御人數は程よく此處へ參るとある、決して油斷をいたされるな』と下知をいたして寄らば討んと待構へて居ります、かゝることとはあらうとは神ならぬ身の夢にも知らず將軍家の御同勢此處まで引揚げて參り休息いたさんとする處へ、遙か向ふの土手影より六七十人の曲者何れも面部を隱し槍薙刀などを携へて往來を斷切りましたる樣子、御手先旗下衆此を見て大いに驚き、コハ何者ならんと騷ぎ立たる時に大久保彦左衞門是を制して先手へ出ました

内科 小兒科 胃腸科 入院隨意
京城醫院
京城本町二丁目 御成座前 電話七四二番
岡山醫學士 鈴木茂

花柳病 皮膚病
須古醫院
京城府永樂町一「商品陳列館通坂上」 電話二一〇二番

中央試驗所分析試驗濟
■常用又は藥用として■ ■風味甘露の如き■
朝鮮人蔘酒
■好評湧くが如き■ ■土産又は贈答として■
京城明治町 小田商舍 電二〇九四番

四月三十日 九星一白
舊三月十日 亥寅
六白 乾 閉 赤口 安

▲六白 物の破綻を意味する日新事見合南方は吉 ▲七赤 好況の日轉居開業旅行名弘金等萬吉 ▲八白 大吉 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 思はぬ [illegible] ▲二黑 金運の日 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 平運の日なれども [illegible] ▲五黃 [illegible]

演藝案内

京城壽町 壽館 電話一〇〇三
▲筑前琵琶春季大演奏會 四月二十八日午後正六時より [illegible]

京城壽町 壽座 電話五七八番
今様能樂家元紫泉會 大正六年四月廿八日初日 [illegible]
▲其清 ▲巴 ▲鷺亂 ▲咸陽宮 ▲夕々狐 ▲瓜盗人 ▲附狂言 ▲何文字 [illegible]

黃金館 電話二六三七 六五二
▲四月二十七日より新らしく ▲世界的大滑稽リチーの逃走 [illegible] ▲新劇『妲妃のお百』(全二卷) [illegible] ▲泰西社界劇『母と別れて』(全三卷) [illegible] ▲新派悲劇『白桔梗』(全三卷) [illegible]
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店

京城御成町 御成座 電話二九一
▲伊達の浮橋 全八場 ▲夢の女 全四場 ▲佛國式奇術(松井天外出演) [illegible]

京城櫻井町 大正館 電話八七三
四月廿七日より新寫眞提供 [illegible] ▲新派悲劇『綻月』(全四卷) [illegible]

京城旭町 浪花館 電話二六〇
東京大阪合同 [illegible]

京城本町一丁目 有樂館 電話二〇五番
二代目桃中軒雲右衞門喪名披露興行 四月二十九日より五日間限り
▲初日讀物▼ [illegible] ▲雲右衞門初日の讀物 ▲岡野金右衞門 [illegible] ◎五月四日より活動大寫眞と大餘興 [illegible]

第八十五版より第九十版まで賣切
天覽 蘇峯 德富猪一郎著
大正の青年と帝國の前途
上製 總クロース上製天金 函入菊版七百五十頁 定價金二圓八十錢 郵税十二錢
並製 四六版七百三十頁 定價金八十錢 郵税八錢
發刊以來半歳に充たずして第九十版を發行し然も江湖の需要愈々出で、愈々盛なるもの本書の如きものありや
發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替東京一二〇〇番
賣捌所 京城大平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇番
取次所 京城本町二丁目 大阪屋號 振替京城二五七三番 / 京城本町二丁目 巖松堂 振替京城二四五四番

七日ツゲタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液
小壜 二十錢 大壜 四十錢
今東京で大評判の元業液色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに頁に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料内地八錢 滿鮮卅錢 臺樺廿錢 東京神田和泉橋際 松本藥店

消化と毒けし 仁丹

佳味芳香一粒爽快
執務の時や煙草の前後には先づ仁丹召上れ惰氣を去り元氣を復す

金言
完全なる教育を子女に殘すは最良なる遺產なり (スペンサー)

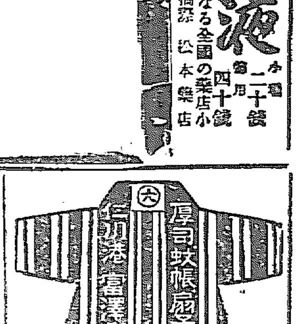
主効
消化不良 胸腹の痛
食欲不進 頭痛眩暈
舟車の暈 精神鬱結
中暑傷寒 悪酔悪心
吐瀉下痢 悪疫豫防

◎仁丹の五拾錢包に添付のブック形容器

優等清酒
菊
釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話四一〇三九番 振替口座四三九番

京城 朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦
出張所 群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、寬城子、傅家甸、龍井村
電話 [illegible]
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

質 堀佐營業所
京城黃金町二丁目入(永樂町停留所北) 電話六三九番



朝鮮仁川港
最上醬油
高杉醬油釀造場

第三版
京城日報
四月廿九日（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢（郵税共）
廣告料 五號活字一行金三拾錢 ▲二號活字…
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之助
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 …
振替貯金口座京城二〇四番

▲後場の手振

▲當限受渡再報

▲受渡し客

京城講話

人格高下の標準

本社主催通俗講演會に於て

文學博士　村上専精

人格なる語は近時欧羅巴の心理學並に倫理學が日本に輸入せられてより一の流行語となり、今日各方面に應用される様になつた。随つて人格の解釋は之を心理學上や倫理學上から論ずれば随分六ケ敷い様だが、今日は學問上の研究は暫く措き、通俗的人格とは如何なる意味かと云ふ事に就いて自分の所懐を開陳しやうと思ふ。

凡そ人間に附屬する總ての物には其れ〳〵の價格等級がある。例へば一枚の衣服にしても十圓の物あり、或は二十圓の物あり或は數十百圓の物もある。家屋にしても朝鮮人の住居する藁屋の家も家だが又立派な石造や煉瓦造もあつて各其の價格等級が違ふ。土地にしても然りで東京四里四方の中に今日猶一箇月の地代坪僅か一錢以下の處もあるかと思へば高きは二圓三圓の處もある。其の標に總て人間に附屬する一切の物には各價格等級があるのである。

そこで價格等級の高い低いには何か理由がなければならぬ。衣服で言へば高價なるは柄が善いとか手觸が良いとか、もちが宜いとか色々理由がある。飲食物にしても食て美味であるとか滋養になるとか云ふ物は相當に高價である。故に無暗に高價、無暗に安價と云ふことは無く、必ず其所に其れ〳〵然る所以がある。人間に附屬する一切の物に價格等級がある以上我々人間にも必ず價格等級が有るであらう。私の謂ふ通俗的人格とは之を申すのであるが、世間には何んとなく人に尊敬される者と、何んとなく人に嫌はれる者とがある。若し人間に等級があれば、何が標準となつて然るか。諸君と共に深く之を研究したい。

世間動もすれば財産に依つて人間に等級を附せんとする。錦殿玉樓に起臥し綾羅錦繍を纏ひ金側時計でも下げて意氣揚々大道を濶歩する者を人間の品等が高きが如く思惟する者が無いであらうか。斯かる所に人間の價値の標準を措くならば茅屋に佗しい生活を爲す者は一文の價値が無いが顔回の如き、孔子の如き、釋迦の如き何れも貧乏人であるけれど何人が之を人格低しと言ふか。若し財産が人格高下の標準ならば、斯かる新開地に來つて、爲す事が當り數年間に鉅萬の富を造る者が我人共に之を成功者と爲すであらうが、財産有る者必ずしも人格高きに非ざるは敢て喩なするの要は無い。乃ち財産は人格高下の標準とは爲すに足らぬのである。

然らば學術技藝が其の標準となるかと云ふに是亦必ずしも標準と爲すに足らない。世間學術技藝に達した者必ずしも人格高きに非ざるは其の例に乏しからぬ。體格の大小顔貌の美醜、勿論標準とはならぬ。然らば位階勲等が標準となるであらうか、これは一應人格高下の標準となるであらうが、時あつてか位記返上、勲位褫奪と云ふことがあるを以て見れば、眞個人格高下の標準とは言はれない。人間の品格を高下ならしむるものは財産に非ず、學問藝術に非ず、體格の大小、顔貌の美醜に非ず、勲位爵等に非ずとせば抑々何が標準であるか、私は道德なりと言はねばならぬ。道德と言つた丈では未だ意味が漠然として居るが、言換へると犠牲的精神の分量が圓滿發達して多量なる人が人格の高き人であつて、犠牲的精神の缺乏した人若くは皆無な人は人間としての等級が最も下劣であると私は考へる。如何に學術技藝に熟達すとも、鉅萬の富を積むとも、犠牲的精神に缺乏し若くは皆無なる人は、人間としては極めて劣等である如何に其日暮しの侘しい生活を爲すとも、又學術藝能に乏しくとも、犠牲的精神の多量なる人は人格が高いのである。人格の高き人は現在から未來に貫通して、多くの人の尊敬を受けると云ふ事は社會の事實が明かに之を證明してゐる。

犠牲とは支那の古俗から出た語で昔支那では其の大切な牛を屠殺して神に献げ奉仕の誠を表したものであるが、茲に謂ふ犠牲とは牛を殺すことでは無い。而して犠牲は所謂天職であつて、自己を捨てゝ他の爲に盡すの精神である。或は國家の爲に、或は社會の爲に自己の一切を捨てゝ盡す。否、夫れ許りでは無い。要するに他の爲に己を捨てるのが犠牲的精神の本義である。犠牲的精神の發揮には非常なる勇氣が伴ふ。勇氣とは軍人が戰陣に臨んだ時ばかりに現はれるものでは無い。佛もまた勇氣である。他を救ふの勇氣である。故に犠牲なる語は支那の古俗から出たものだが、儒教であらうが、佛教であらうが、基督教であらうが、倫理道德であらうが、結局公の爲に、或は他の爲に身命を抛つても盡すの精神を高調せざるは無い。死んや財産をや、勞働をや。是に於てか身に著く何物が無くとも、一片犠牲の精神に燃えて居る人は、人間として最も價値ありと斷せざるを得ない。

然らば犠牲的精神とは如何なるものであるか、試に之を二樣に分類すれば、第一は時間上の分類で、更に之を臨時の犠牲と平常の犠牲とに分つ事が可能る。臨時の犠牲とは何か事件が起つた時に爲すのであつて、軍人が戰場に臨んで生命を捨てる如きは臨時の犠牲である。或は火事の際親を救ふ爲に火に飛込んだが、自分も燒死するとか或は可愛い子供が過つて井戸に落たのを救ふ爲に飛込んで自分も溺れるとか云ふは即ち臨時の犠牲である。

先帝陛下の詔勅にある「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ皇運ヲ扶翼スヘシ」と仰せられたのは、臨時の犠牲である。併し犠牲は非常の場合のみに限りはせぬ。寧ろ天下泰平の際最も必要なのである。

更に之を性質上より分類すれば幾通りにも分つ事が可能やうが、第一は成業上の犠牲である。一旦志を立てゝ遣掛けた事は必ず仕遂げる。之が爲には一身を犠牲に供しても悔いないとの勇氣無くんば成功は覺束ない。志した事を仕遂げやうと努力する前には病氣が起るの、衛生がどうのと、そんな事を心配する遑が無い。志を遂げやうと努力するのには衛生なんか考へて居る暇が無い。今の學生は無暗に衛生〳〵と言ふが、昔は衛生なんか無かつた。朝鮮に早くから渡つて實業に成功した人な抔で衛生なんかに拘泥した人はあるまい。我が志を遂げんと欲せば一身の苦樂は犠牲にして、死すとも悔ぬと云ふ氣槪が無ければならぬ。身を捨てゝこそ浮ぶ瀬もあれ、生命が惜しくては大事は出來ぬ。戰場に出た軍人で生還つて居る人は、鐵砲玉が恐い人であつたかと云へば、反つて死ぬる覺悟で進んだ人だ。死ぬ積りで戰ふ人には不思議と鐵砲彈が當らず、彈丸の方から逃げてゆくが、生命が欲しいと恐がる人に不思議と彈が當たると聞く。志を仕遂げるのも之と同じく、一身を捨てゝ顧みぬと云ふ勇氣を以て勵んでこそ、天晴の成業が可能るのである。

第二は職務の爲に殉ずる犠牲である。公の職務を執る人には殊に此の公的犠牲の精神が必要であるが、職務の爲の犠牲は取も直さず成業上の犠牲になるであらうが、茲には暫く分けて置く。官廳でも會社銀行でも凡そ一團體を成す處に於ては、進んで其の犠牲となる程の人が無ければ、立派に仕事が運んで行くもので無い。

第三は道德上の犠牲である。之を分ちて公德上の犠牲と私德上の犠牲とする。楠正成の忠節が千古に芳しいのも、曾我兄弟の評判高いのも、四十七士の名高いのも、公德上の犠牲を爲したからで、是等の人は肉體こそ此の世にないが、其の精神は永久に誅なくとして萬人に尊敬されるのである。即ち是れ公德上の犠牲の賜物である。

私德上の犠牲にも種々あらうが、親が子を養育するのに此私德上の犠牲を拂はねば立派に育つものでは無い。子が病氣にでも罹つた時の親の心配は如何であるか、自分が身代りになつても子を助けやうとするではないか、親に此の犠牲の精神あればこそ子は育つのに、親の爲に犠牲になる子は滅多に無い。若し有れば世間は奇特だとて襃める。子が親の犠牲になるのは當然の事だが、世間では大評判だ。妙である。妻は夫の爲め犠牲となり、夫は妻の爲に犠牲となる心懸でなくては夫婦相和さない。兄弟姉妹であらうが、朋友であらうが、お互に犠牲的精神で交らなければ、眞の結合は出來ない。人間の道とは之だ。お互に犠牲的精神で世に處してこそ倫理道德が完全圓滿に行はれるのである。先づ犠牲を時間上から分類すれば、臨時の犠牲と平常の犠牲とあり、更に性質上から分類せば、成業上の犠牲と、職務上の犠牲と道德上の犠牲とがあるが、是等諸種の犠牲を比較して其の優劣、難易如何を研究しなければならぬ。

私は臨時の犠牲よりも平常の犠牲が優ると思ふ。其れ丈平常の犠牲が困難であるが、吾人の修養上必要なるは寧ろ此の平常の犠牲である。臨時の犠牲は案外容易である。此處には軍人が多く御列席であるが、人の說を聽くと、餘程生命の惜しい人でも、いざ戰場に臨むと、存外決心がつくと云ふ事である。之は乃ち臨時の犠牲の行ひ易い實例だらうと思ふ。或は火事があつた場合親を救ふ爲に火中に飛込む如き臨時の犠牲は突發的の事實に現はれるもの故、平時にもさう云ふ犠牲的精神が涵養して居ると斷言され ぬ事がある。然るに平素犠牲的精神が充滿し居ると臨時の場合には必ず犠牲的精神が活動が可能る。其れ丈平常の犠牲は困難であつて其の效果は大である。更に性質上より分類しても、成業上の犠牲は或は金を儲けたいとか、名を得たいとか、自分の都合上から起る犠牲ならば……爲さゞるには優るが、それ程尊くはない。そこで先づ成業上の犠牲よりも職務上の犠牲が困難にして而かも値打があるが、道德上の犠牲は更に尊いと申さねばならぬ。故に吾人の主として心懸くべきは道德上の犠牲である。若し夫れ道德的犠牲の精神あらば、自から職務上の犠牲も盡し得べく、職務上の犠牲を盡せる人ならんには、其の分に應じて成業と云ふ事があるであらう。されば是等の犠牲の優劣難易如何と考究すれば、臨時の犠牲よりも平常の犠牲が優り、成業上の犠牲よりも職務上の犠牲が優り、其よりも更に道德上の犠牲が優る事は古今の歴史の證明する所であり、殊に日本の歴史は之を證明してゐる。先刻申した楠公は、金持でも無く、好男子でも無かつたが道德上の犠牲的精神に溢れて居たのである。四十七士や曾我兄弟の昔話は今に傳へて聽く者をして感激せしめるのは、其の尊い犠牲的精神である。そんな遠い昔話は暫く措き明治の歴史を見ても明治四十五年間に於ける日本は實に驚くべき進歩を遂げ國威八紘に輝く所以のものは上に御聖德淵高き明治天皇在しまし給ひ下に文官武官の群臣あつて能く其の思召を體して忠實其の職に盡した爲であるが、其の犠牲の歴史の巻頭巻軸となつたのは何んと言ふても西鄕南洲に始まりて乃木大將に終つて居る。

南洲は偉大であつたが金持ではなかつた。東京の上野には狸の化物然たる銅像が建つてゐるが、鹿兒島には立派な神社が建立されてある。乃木大將は東京と長府と桃山と宇都宮に神として祀られてゐる。併し南洲や乃木大將よりも爵位の上な人で、其の死後神となれずに居るものがある。何公爵だの何侯爵だの云ふ人の墓は隨分有るが、甚だ相濟まぬが私の未だ參詣せぬのが澤山ある。南洲翁も乃木大將も同じく貧乏であつた。學問から言ふてもあれ位の學者は他にないではなからう。戰爭が上手だつたかも知れぬが、併しあの位の戰爭を爲す人は他にないでもあるまいと思ふが、雖あれ程部下は服した人はあるかどうか。彼の時南洲翁に殉つて戰死した者の中には幼きは十歳から十五六歳のがあるが、遺族は其の子弟の死を悲しまざるのみならず、寧ろ喜んで居ると云ふのは、南洲翁の心中一點の私が無かつた爲である。南洲翁にせよ乃木大將にせよ今日神として萬人敬仰の的となつてゐるのは、犠牲的精神の分量が多量であつた爲だと言ふより外は無い。若し夫れ世の宗教家と言はるゝ人或は一宗の開山祖師と言はるゝ人と豪傑偉人と言はるゝ人を比較すれば、豪傑偉人は、死後が其の在世中程に光明を放たない。之に反し宗教家と言はるゝ人は、在世中よりも寧ろ其の滅後に於て意外の光明を放つものである。這回私共は京城本願寺別院に於て宗祖親鸞上人の六百五十回の御遠忌を施行する爲、法主に隨從して參つたのであるが、親鸞上人と同時代の日本の豪傑は賴朝公で、親鸞は京都の總領家の出であり、賴朝は源氏の總領で能く似寄つてゐるが、當時賴朝は覇業を成就して天下を取つたけれど、親鸞は言はゞ乞食坊主で、時には木賃宿にも泊れなかつた程の貧しさであつたなれど、上人は宗祖家として、一身を犠牲に供して世の爲め人の爲に盡したに反し、賴朝は其の弟や身内の者を殺し、猶己れの勢力を扶植し、少しも犠牲的精神は認め難い。然れば七百年後の今日、賴朝の御遠忌は誰一人營みはせぬ。南洲翁や乃木大將は神として祀られてゐるが、賴朝には神社一つも無い。鎌倉に行くと其の墓には草茫々として五輪の塔が消しげに建つて居るのみで、幾年經つても線香一つ上がらない。然るに當時の乞食坊主親鸞の精神は今尚我々の心に働き、日本國中の二萬箇寺に其の肖像が掲げられ線香の上がらぬ時とて無い。是れ即ち犠牲的精神の今に吾人をして感佩措く能はざらしめるのでなくて何であらう。然れば人格高下の標準は須らく此の犠牲的精神の量如何に依つてすべきものであると、私は確信するのである。

新案特許 三六二九八號
タイヨー萬年毛筆 （特價六十四錢）
本品が從來有り觸れたるものと異り頗る精巧無比、構造堅牢にして永く使用に耐ゆる事は既に定評あり、穗首の取換自在なれば實用に適し且つ經濟なり尚普通の毛筆より高尚優美にして一度墨汁（開明墨）を入るれば端書三百枚迄は書き得るを以て携帶用として亦事務用として頗る便利也旅行家外勤家には最も欠く可らざる必要品なれば是非一度御試用あれ
▲替穗 壹個金八錢　▲スクリップ壹個金五錢
△團體若しくは合同にて一打以上御求の方は特に割引の御需に應ず
◎發賣所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 合資會社 京城日報社代理部

明治ゴム製品
販賣總代理店
鐵材機械雜貨輸出入業
米井商店
本店 東京市銀座三丁目
支店 大阪市今橋四丁目 神戶市榮町四丁目
◎船艦、鑛山、電氣、瓦斯、醫療
用其の他工業用ゴム製品一般
工場增築
販路擴張
明治タイヤー
選擇せよ
古い歷史ある
明治ゴムの品を
サルタンタイヤ
ウインタイヤ
コインタイヤ
四本筋タイヤ
エム、アール中袋
サルタン中袋
イエロー 中袋

スワン萬年ペン
大阪平野町 スワン出張所

會員最新募集
英語講義錄
新學期開講
入會の最好機!!
獨習者の福音!!
廿世紀の現代に處して英語に精通せざるものは如何なる職業に從事するも亦如何なる天才を有するも生存競爭の劣敗者たるを免れず。けに諸君が英語を知ると知らざるとは生涯浮沈の岐るゝ分水嶺なり。事を始む何の時か遲からん。只だ最初の決斷こそ肝要なれ。不幸善良なる師に就て親しく英語を學ぶべき機會なきものは一日も早く日本一の定評ある本講義錄に依て完全なる英語を修得せられよ。徒らに躊躇狐疑して悔を千載に貽す勿れ。見本早速進呈
學科　は初等、中等、高等の三科に分ち譯讀、英作文、會話等總てを含む。
講師　は現代一流の大家を網羅し何れも熱血を濺いで本講義錄に執筆せらる。
講義　は親切明快にして何人にも獨習極めて容易なり。
設備　は歐米最新の教授法を參照して眞に理想的通信教授の實あらしむ。
見本つき 會則進呈
東京九段坂上 大日本國民英語學會 電話番町 三七〇四

薩摩式搗鑛水車金物製作
薩摩式水車本組
和洋鍋釜 鑛業用具 諸機械類 各種調帶
鑄工業
鹿兒島縣川内町
三新原鍋屋
電略（ニナ）
電話五五番

◎日支親善促進提議
張督軍日本政府黨の勝利を悦ぶ

張督軍は章駐日公使より今回日本に於ける總選擧の結果は政府黨大勝利なりとの電報に接し現政閣の對支親善策の確立せるを悦び近く馬交涉使を總領事館に派して祝意を表し且つ日支親善の促進案を提議する旨を聲明せり(奉天特電)

◎支那參戰案提出期

對獨宣戰案は三、四日中に議會に提出する事に決したるが議會が是を否決せば段氏は非常手段に訴へん(北京特電)

◎關税引上條件訂正勸告

支那の關税引上條件は過大に失するを以て協商國側は支那政府に對し之が訂正を勸告すべしと(東京電報)

◎艦々相摩の大海戰
英佛海峽英獨海戰の詳報

二十一日報道せられたる海戰の詳報に曰く當時參戰せる敵艦の數は六隻にして英國驅逐艦スイフト、ブロークの二艦は西方を指して警備航行中敵艦の全速力にて反對の方向に航走するを認めたり此の夜闇寂たる海上咫尺を辨ぜず敵は直ちに砲火を開き我がスイフト號はペック司令官指揮の下に六百碼の距離にて是に應じ火光閃々たり間も無く我司令官は舵機に故障を生じたる敵艦に衝撃を行はんと決心し驀進せるも不幸にして標的を逸して敵艦前を横斷したるが此時巧に水雷を發射し他の一敵艦に命中せしめたりブローク號は敵の二番艦に水雷を發射し更に全速力にて三番艦の左舷に突進し右舷煙突のある舷側に我が艦首を突き込み兩艦の將卒は猛烈なる白兵戰を演じ我は凡ゆる砲火を以て敵の甲板を掃射し我が艦の砲手も十八名より六名に減せりブローク號は敵艦に對し突撃を行へる後二分間にして沈沒しかゝれる敵艦より分離したるが猶敵の僚艦の艦首に水雷を命中せしめたり後我が僚艦は暗中に遁走せる敵艦に對し追撃を中止し他の沈沒敵艦の生存者を救助したり(倫敦電報)

◎大爆發と軍港の被害

アムステルダム來電=二十日ウヰルヘルムスハーフエンに大爆發あり軍港の被害大なるものゝ如し(倫敦電報)

◎伯林職工の同盟罷業
原因は食糧不足物價騰貴の爲め

伯林に於ける金屬工業關係職工約二十五萬人同盟罷業せる旨報ぜらる最近の發表に依れば一億八千萬馬克以上の資本を有せる金屬加工業は二割七厘以上即ち前年に比し大増率の配當をなし得たるのみならず資本の集中はトラスト主義の發現となり資本家等は拇費の爲め協態せるに拘はらず一方職工等は食糧不足物價騰貴に苦しみ爲めに大罷業を企てたるものと解せらる(倫敦電報)

◎祭祀料御下賜

二十九日より三日間靖國神社春季例祭に就き畏き邊にては祭祀料五百圓御下賜相成りたり(東京電報)

◎豫備金費途
内總督府に屬する者

二十八日勅令第四十三號を以て大正六年度歳出豫算中第一豫備金を以て補充し得べき費途百六件を裁可公布せられたり中朝鮮總督府に屬するもの次の如し(東京特電)
敎科書費▲度量衡事業費▲銃器彈藥費▲檢疫及び患者費▲移出牛檢疫費▲痘苗製造費▲請願巡査費▲執行及び送達事務費▲煙草耕作紙及び鑑札類諸費▲不動產證明費▲地方費▲賦課金取扱費▲民籍事務費等

◎定期敍勳發表

二十八日檢事等下陽氏以下二百七十九名の定期敍勳發表せられたり(東京特電)

◎外交經過内示

政府は臨時議會開會前貴衆兩院各派代表者の參集を求め追加豫算案内容及び外交特に對支外交の經過に就き内示報告する所あるべし(東京電報)

◎對支外交と三黨首

對支外交は臨時議會に於ける唯一の重要問題なれば政府の内示後三浦梧樓子等の斡旋に依りて三黨首會合を催し政府の方策に關し熟議すべしと(東京特電)

◎各委員長候補

政友會は衆議院に於て比較的多數を占めたるを以て全院委員長及び常任委員長は總て政友會に專有する事となるべく豫算委員長は井上角五郎氏適任の評もあれど曾て一度其の椅子に著きたる事あれば此度は院内總務川原茂輔氏なるべく全院委員長は小久保喜七氏懲戒委員長は鵜澤總明氏請願委員長は上埜安太郎氏決算委員長は或は政府側無所屬に讓るべしとの噂高し(東京特電)

◎選擧違反者數

司法省の調査に依れば二十八日迄の選擧違反者は其の數既に四千人に及び去る二十日投票日の一千九百八十名に比し二倍強となれり(東京特電)

◎二木氏免官 山理

休職滋賀縣警察部長二木千年氏懲戒免官の理由は二十四日附、二十八日の官報を以て發表せられたり左の如し(東京特電)
文官高等懲戒委員會は休職滋賀縣警察部長二木千年に對する懲戒事件を審査するに右は滋賀縣警察部長在職中大正六年四月病氣の故を以て辭表を提出し知事の抑止を肯せずして即日擅に上京し職務を放棄して滯在數日に渉り次で辭職に際しての辯明と題する文書を新聞紙に投書し失當過激の文辭を羅列して本屬長官を誹譏したるものなり(中略)右は官吏たるものゝ本分に反するの甚だしきものにて文官懲戒令第二條第一號に該當し同第三條第一號に依り免官に處すべきものと決議す

◎本年度留學生

文部省にては本年度の留學生として大學方面に十名他の直轄學校に約十名を選拔する由(東京特電)

◎日郵運賃値上

日本郵船の北支那及び上海航路の往復運賃値上げは二十八日遞信省より認可五月一日より實施することに決せり(東京特電)

◎筑紫少將渡鮮

支那へ出張仰せ付けられたる陸軍少將筑紫熊七氏二十八日朝聯絡船壹岐丸にて渡鮮支那に向へり(門司特電)

◎平塚檢査官渡鮮

會計檢査官平塚定二郎氏は二十八日東京發釜山に向へり(東京特電)

◎總督羅南到著

長谷川總督一行は二十八日鏡城道廳、警務部、慈惠醫院、學校、物產陳列所等を巡察し午後二時三十分鏡城發羅南に向ひ同三時三十分羅南著軍隊、地方官民の出迎を受け松屋旅館に投宿せり二十九日は午前旅團司令部を訪ひ午後羅南發淸津に向ふ豫定なり(淸津特電)

◎安東航路問題

大阪商船會社の安東航路は五月限り廢止のことに決定せるに依り安東商業會議所にては過日同社に對し繼續の交涉を爲すと同時に大阪商業會議所を始め各關係筋へ之が斡旋方を依賴する處ありたるに本月二十四日大阪商業會議所より之に與する回答あり其內容は商船會社に交涉したるも目下船舶非常に缺乏せるのみならず借入料亦極めて高價なれば到底安東商業會議所よりの要求に應ずる能はざるも安東の荷主にして萬一該會社が高價を拂つて借入る可き船舶の借入料を償ひ得る丈の運賃を負擔し得るに於ては其要求に應ず可しとの次第なるに付果して安東の荷主に於て其覺悟あるに於ては直接會社に對し交涉せられたしと云ふに在り右に付安東商業會議所にては近く協議會を開き何分の決定を爲す筈(安東縣)

◎朝郵株主總會

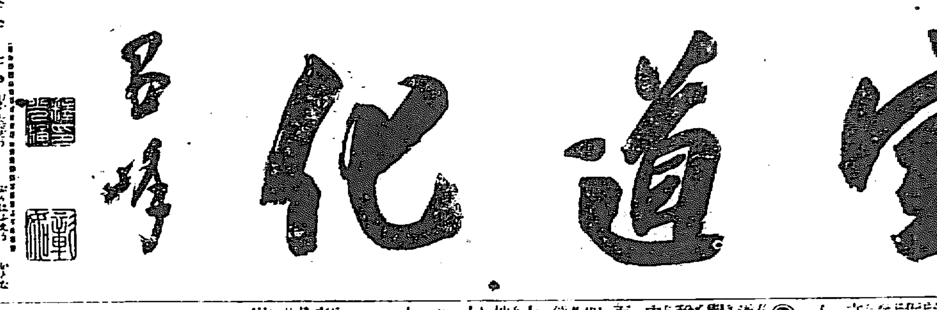
朝鮮郵船定時總會は二十八日午後一時同社本店に於て開かれ出席者委任狀附託者共百卅一名此株數五四、四〇五株にして滿場一致を以て計算書類並に左の利益金分配案を承認し取締役深尾隆太郎氏辭任に付補缺選擧の結果上谷續氏當選し深尾隆太郎氏へ功勞金贈呈の件は取締役に一任する事に決議せり因に當日監督官廳より伊藤事務官臨席したり

第五期上半年度より繰越	四一、五八〇圓
當期利益金	一六六、六三八
合計	二〇八、二一九
内	
準備積立金	一〇、〇〇〇
別途積立金	六〇、〇〇〇
役員賞與金	八、五〇〇
海陸職員臨時特別手當金	九、三六五
配當金(年七朱)	五二、五〇〇
臨時特別配當金(年三朱)	二二、五〇〇
次期へ繰越高	四五、三五四

◎法主著仁
有志信徒の出迎盛ん

旣報の如く大谷光演法主は南條、村上兩博士を隨へ廿八日午後二時四十分南大門驛發同四時三十分仁川驛に著したるが驛には多數の有志信徒隨喜の涙を泛べつゝ一行を出迎ふ法主には出迎人に對し諄かに會釋しつゝ驛前に待ち設けたる俥にて春雨をほ降る濱町通りを一直線に本町東本願寺に到り夫より堀力太郎氏方に赴きたり尚法主には二十九日午前九時三十分仁川分監に到り囚徒に對して敎誨を爲し十一時歸館十二時半より信徒總代評議員並に婦人會員に接見し午後一時歸敬式同三十分法要を營みたる後親敎續いて南條博士の副演あり夜八時東本願寺に於て南條村上兩博士の講演ある筈なるが退仁期は三十日午前七時なりと(仁川)

本社に寄せたる大谷光演法主の筆蹟



▲兩博士の講演 南條村上兩博士は二十八日夜仁川佛敎青年會主催に係る小學校の講演會に臨み精神講話をなしたるが多數の來聽者あり中には京城に於ける本社主催の講演會に赴く能はざりしを悔い見送り旁々來聽したる者もありたり(仁川)

◎蠶業傳習所廢合 南班僑

生其他恒產なき者に授產の目的を以て各地に設置されたる蠶業傳習所は從來十一箇所に及びたるが何れも授產者の數已に五十名以上に達し將來の生徒募集は是迄の如く急を要せざるのみならず之に依り各郡別に傳習生を散在せしむるの必要なく之を適宜廢合するを便宜とするの狀態なるより愈々本年度に之が廢合を行ふて德川(德川、寧遠、孟山の三箇所を合す)安州(安州、价川、順川、平原を合す)平壤(中和、江西、龍岡、大同を合す)成川(成川、江東、陽德を合す)の四箇所に纏め又敎師、助敎師は之を廢し代ふるに專任技手を配置し專ら傳習事務を執掌せしむることゝなれり(平壤)

◎蠶種交付期

京畿道管內養蠶者の共同購入に係る春蠶種及び同道配付の蠶種三萬餘枚は道に於て保護中の所本月二十六、七日頃其の筋より發送交付する由、而して一般に春蠶掃立は來る五月十四、五日頃となるべしと云ふ

◎京畿地税滯納原因

京畿道大正五年度第二期地税滯納原因を聞くに滯納人員は九千八百五十七人税額五千四百十七圓八十三錢にして內貧に因るもの千零二十九人税額七百八十九圓九錢怠慢に依るもの二千四百六十一人税額二千七百一圓六十錢金策不如意に因るもの五千九百六十五人税額千四百五十二圓三十七錢地税管理人の怠慢に因るもの百十五人税額百五十三圓八十四錢以上の外の原因に依るもの百零三人税額百三十二圓七十八錢ありと

□滿洲視察團歸京

京城日報社及び每日申報社主催の南北滿洲視察團一行は去る十五日京城出發以來當初の豫定通り無事南北滿洲

本社主催 南北滿州視察團

◇半個月の旅を終りて
五龍背に於ける解散式
鎭山の春霞に彩旗翻れる下

五龍背溫泉に於ける解散式は二十八日正午より開催是より先き溫泉に於て長途の旅塵を洗ひたる一行は各自半箇月に亙る旅行の興趣を語らひつゝ鎭山の春霞に彩旗翻れる庭前を逍遙すれば接待役として安東縣の美人連數十名汽車にて來援し麗日和の五龍背には遲日花影に麗なり斯くて定刻に至り庭園の其處此處に設らへたる模擬店開店せば團員互に酒を汲みつゝ歡談笑語に時の移るを知らず更に模擬店を下りて一同記念の撮影を爲す寫眞は第一部より第四部に至る二十五名宛の一團にて五龍閣玄關前の春光を浴び各部共萬歲を三唱しつゝ解散の別盃を酌みしは愛嬌なりき斯くて主催者側よりは阿部本社長の視察團解散に關する挨拶あり之れに對し弓場副團長又旅行中の謝辭を述べ和氣靄々裡に解散式を終れり猶一部の團員は午後三時四十分發の列車にて安東縣及び義州に向ひしが其の大部分は五龍背に一泊し二十九日朝發の列車にて南行し午後七時三十分南大門驛著の豫定なり尚二十八日夜は團員の解散大宴會を催す筈にて一行元氣旺盛なり(二十八日午後四時四十分於五龍背幹部員發電)

春夜寄波山翁 今關 天彭
落花如雪灑風欄。薄醉仍添半臂寒。客恨春愁消不得。任君剪燭倚更闌。

■南言北語■

獨逸では[illegible]と云ふけれど人間の死體を煮て其から油を搾取して居る事は[illegible]事實となつた▲場所は白國境附近の獨領サン、ヴイトと云ふ處に其の第一工場がある▲資本金は廿萬馬克で會社の名は聞く丈でも餘り心地の好くない屍肉利用株式會社▲營業成績も好いと見えて其の第一回の配當もやつたとの事▲西部戰線から兵士の死體を汽車で運んで來ると工場の西北で汽車が停まる▲消毒の被衣を著けた人夫の兵士が[illegible]の先に鈎の付いた[illegible]で死體を引き摺つて行く▲而して大きな鍋の中に投げ込んで煮るのだ▲會社では此の模樣を人が見るのを恐れて嚴重に監督して居るとの事▲其れでなくても問題の獨逸が更に何處の野蠻人もやらぬ斯る人道上の罪惡を敢てするから益々攻撃の中心となる許りだ▲世に[illegible]と云ふが假りに行はれるならば獨帝の衰弱なども當然大鍋の中から出る煙のせいかも知れぬ▲或は今頃は恐ろしい夢を每晩見て居るかも知れぬ獨逸が死體から油を取れば聯合國は獨逸の生きた人間の油を取つてやれば好い▲何せ地獄へ落ちるのだらうが講和や退位くらゐで來世の責苦を帳消しにしやうたつて其は駄目だ▲英佛海峽の英獨海戰で英艦の奮戰は頗るあざやかなものだ▲衝角で敵艦の橫ッ腹を突き破るなんて流石はネルソンを有した英國海軍丈けあるわい

◎奥中將の歸任

[illegible]出場すべき支那選手五十五名は二十八日郵船熊野丸にて上海より[illegible]
大正三年四月[illegible]用地の買收其他諸[illegible]を終り市内に於ける[illegible]の敷設中[illegible]立尋常高等小學校尋常科千七十二[illegible]百四十一人高等科[illegible]
大邱學校組合會計檢査は二十七日を以て同組合會計檢査委員畑本、伊藤、[illegible]執行せられたり
鮮民報社長河合朝雄氏は二十七日午後一時十八分着列車にて歸任せり▲渦日來鄕里大分縣に[illegible]

廣告

法人登記
[illegible]
大正六年四月貳拾五日登記
京城地方法院驪州支廳

購買
競爭入札ニ付スル物品[illegible]
詳細ハ四月廿八日ノ本府官報ニ在リ
朝鮮總督府遞信局

解雇廣告
三倉商會出張員[illegible]依願解雇仕候[illegible]
東京市[illegible] 三倉商會

朝鮮郵船株式會社 第拾回決算報告

借方之部	
拂込未濟株金	[illegible]
船舶代價	[illegible]
新造船舶代價	[illegible]
小蒸汽船代價	[illegible]
地所建物及備品代	[illegible]
貯藏品	[illegible]
什器	[illegible]
保證金	[illegible]
有價證券	[illegible]
未經過保險料	[illegible]
貸付金勘定	[illegible]
銀行勘定	[illegible]
各支店勘定	[illegible]
政府勘定	[illegible]
保險計算	[illegible]
合計	[illegible]
貸方之部	
株金	[illegible]
準備積立金	[illegible]
船舶大修繕積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
預り金勘定	[illegible]
貯蓄獎勵金	[illegible]
仕拂未濟代價	[illegible]
決算未拂配當金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]
利益金處分	
前期繰越金	四一、五八〇、[illegible]
當期利益金	一六六、六三八、[illegible]
合計	二〇八、二一九、[illegible]
内	
準備積立金	壹〇、〇〇〇、〇〇
別途積立金	六〇、〇〇〇、〇〇
役員賞與金	八、五〇〇、〇〇
海陸職員臨時特別手當金	九、參六五、〇〇
配當金(年七朱)	五貳、五〇〇、〇〇
臨時特別配當金(年參朱)	貳貳、五〇〇、〇〇
次期へ繰越高	四五、參五四、[illegible]

右之通ニ候也
大正六年四月廿八日
取締役社長 原田金之祐
專務取締役 吉田秀次郎
取締役 大池忠助
取締役 堀力太郎
取締役 深尾隆太郎
右調査候處相違無之候也
監査役 松崎文六
監査役 山口太兵衛
相談役 男爵 近藤廉平
追テ取締役深尾隆太郎氏辭任ニ付補缺選擧ノ結果上谷續氏當選セリ

ドクトル 女醫 中村歯科醫院
京城本町三ノ九 電一五八三番

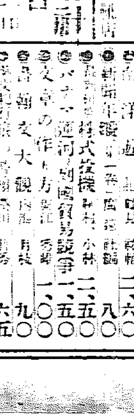
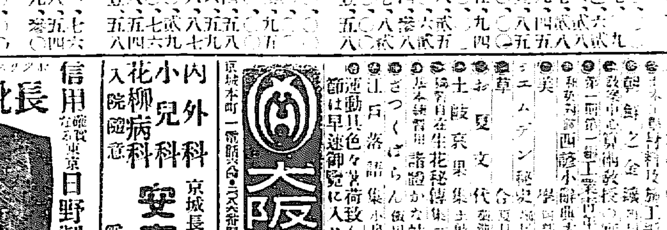
無代進呈 書籍目錄
讀書界唯一の羅針盤
ハガキにて御申込次第送呈す
大阪 市東區心齋橋通博勞町 嵩山堂

松丸太各種荷揃
龍山[illegible](電話五二番)
竹村材木店

最新刊
書名 著者 定價
[illegible]

大阪屋號書店
京城本町一丁目

内外科 小兒科 花柳病科 入院隨意
京城長谷川町
安東病院
電話七三番

信用ある東京日野製靴特價提供
長靴 ボックス皮製編上

長サ 半長金五圓五十錢 本長金五圓八十錢
ボックス皮製編上 一號金貳圓八十錢 二號金三圓八十錢 三號金四圓八十錢
ボックス皮製短靴 一號金貳圓九十錢 二號金三圓九十錢 三號金四圓九十錢
ボックス皮製深ゴム 一號金三圓八十錢 二號金四圓三十錢 三號金五圓三十錢

右は精撰せる材料と熟練せる技術とを以て入念に調製し一般實用紳士靴として最も好適なり御注文の節は靴の種類代金及足袋文數等詳細御通知被下度候代金引換(送料實費)にて御送付申上候●最新型錄進呈す
東京京橋幸町
東京府廳御用 日野製靴店

◉清浦子來阪 …夫人の…（東京特電）

◉オリンピック競技に參加 東京にて開催すべき東洋オリンピック…

◉僞書を作製す 雲書會幹事東京市下谷區竹町二十七…三大郎…（東京特電）

△大邱府水道工事 …に選擇し…大邱府街の入口即ち東城町三丁目に至る約二里十三町間の工事…に工事を急ぎつゝあり△大邱學校生徒數（大正五年三月末現在）を見るに大邱公…校一百十三人にして之れが會計…五百七八に達せり△組合會計檢査…る行政事務狀況視察の爲廿七日出張…一週間內に歸任の筈△河合民報社長…十八日午後七時より…んなる宴會を催せりと

◉天氣豫報追加 …

◉囚徒感涙に咽ぶ
大谷光演法主西大門監獄に臨む

巡錫入京中なる大谷光演法主は二十八日午前西大門監獄に臨場一場の講演を爲したり定刻なる午前十時法主は南條博士、沼波、沼僧錄事隨伴二頭馬車にて著監すれば之れより先に深澤監獄課長外二事務官と共に到著し居れる國分司法部長官は柿原何某典獄外監獄幹部等と共に法主を

◆門前に出迎へ 柿原典獄の案内にて法主は臨監さ共に昨年起工し本月二十七日を以て竣工したる同監獄の新教誨室の一室に入り暫て長官典獄以下監獄職員一同に接見したり監獄にては定刻前既に受刑中の丁年以下囚全部太平洞出張所及び鍾路拘置監より十數名の囚徒を加へ別席には幼年囚及び女囚の一團合計八百餘名の囚徒を新教誨室に集め柿原典獄

◆先導にて入堂 したる法主を能々臨場されたる旨典獄より囚徒に紹介する所あり一方長官以下裁判所判檢事本府屬官裁判所書記監獄職員全部同席の上平易なる法主の教誨あり京城地方法院補山通譯生の通譯にて約三十分間平易なる講話ありたるが囚徒は何れも感泣したり終つて南條博士は監獄の李通譯の通譯にて約三十分間法主教誨の趣旨に基づき復演的講話あり午前十一時頃終了さ共に法主は別室に入りて休憩せし休憩中柿原典獄より

◆記念の揮毫を 法主に乞ひたるに快諾直に記念書帖に揮毫鮮やかに『流除心垢了已味春光演書』と揮毫あり又南條博士は『言行忠信表裏相應』の文字を揮ひ法主は職員の見送りを受けて退去し間もなく隨員も退出したり因みに二十九日は仁川分監にて法主の教誨ある筈にて仁川よりは分監長及び教誨師も出迎への爲め來監し西大門監獄よりは岩永教務所長典獄代理として午後二時四十分南大門驛發の列車にて仁川に向ひたる法主一行に隨行したり

◉春雨蕭々哀愁を喚る
故駐日米大使の遺骸米國に向ふ
悲し矢『哀の極』崇嚴なる告別式

日米親善の爲盡瘁するところ鮮からざりし故駐日米國大使ガスリー氏の遺骸は大路小路の新綠に春雨煙る二十八日午前十一時三十分横濱元町海軍病院の一室を出で續いて黑塗の馬車に移され前驅の騎馬警部を先頭に喪服姿悲しき未亡人、代理大使ホイラー氏、横濱駐在總領事シドモア氏其他數個の花環を盛れる馬車自動車に前後を護られつゝ西波止場に向ひ税關棧橋にて軍艦吾妻より派遣されし武藤中尉の指揮せる十名の兵士の手にてピンネース（大端艇）に移されて生駒艦載水雷艇先頭に立ち諏訪艦就若妻艦艇後に從ひ繋留中なる吾妻艦右舷に著す此の時吾妻より十九發の弔砲を發すれば諏訪艦上に起る『哀の極』と共に各國艦艇は一齊に半旗を掲ぐ棺は中甲板後部左舷の天井及び周圍に鯨幕を張り廻らしたる安置室に收めらる此の時吾妻軍樂隊より『命を捨て』の曲起り午後二時より崇嚴なる告別の式あり同三時各艦艇の弔砲弔樂悲しき裡を艦は靜かに港を離れ一路桑港に向へり此の日本野外相幣原次官其他京濱在住の外交官、外國使臣等の會葬者多數なりき（東京特電）

◆南北滿洲視察團畫報（九）
（上）廿四日哈爾賓公園に於て露國少女等と共に記念撮影
（下）廿六日團員一行馬車にて長春舊城內支那町を見物す

◉獨逸の生地獄
人油製造工場の光景

獨逸が人の屍體を煮詰めて油を搾取しつゝある事は人道問題として全世界を憤激せしめつゝあるが是に就き白耳義のレイダン市のラ、イベルユック新聞紙は詳報を掲げて曰く

△此の工場を 有する會社は有限責任獨逸腐肉利用株式會社と稱し白耳義國境のセント、イヴイスコに工場を設け其の周圍には電流を通じたる針金を引き廻して人の近くを防ぎ列車は屍體を滿載し來りて工場に横附けとなり人夫は屍體に鉤を引懸けて釜に移し六時間乃至八時間蒸汽作用にて

△死屍を解體 し油を搾取す此の工場には又實驗室を備へ一化學者二助手其他七十七名の兵を使用せりと（倫敦電報）

◉眞盛りの仁川の櫻

月尾島の櫻は昨今滿開となつて山腹は花の雲、賑々しく非常の美觀を呈したが二十七日來の風雨の爲めに咲き盛つた花はハラ〳〵散つて一時は

◆花に嵐 の嘆を聊たしめたが二十八日は降りつ降らずみの天候ではあるが此の分では二十九日の日曜には恢復するであらうと觀測されて居る人花共に盛りを期して…二十九日は仁川府廳裁判所等を始めとして京城方面からは遞信局員其他團體の觀櫻會が催されるから

◆月尾島 は紛々たる落花の下人を以て埋るであらう、島の訪づれには税關棧橋及び仁川棧橋附近から通船に搭じてさゝれ蟹遁ふ磯に船を著け岩つゝじや、赤紫の草花が咲き亂れてゐる島に登ると山腹の道路には爛漫として咲き誇る

◆櫻の梢 が花の隧道を造つてゐる、花は盛過ぎて風無きに散る樣は仇めいて得も云はれぬ風情である、海を眺め花を眺めつゝ島を一巡して更らに日本公園を訪づれ、照映ゆる各國公園に海と山と花の粹を聚めた仁川の全景を眺めて五時半乃至七時の汽車で歸京するならば日曜の一日を嬉しく遊ぶ事が出來るであらう（仁川）

仁川公園の櫻

◉師範生徒の同盟休校 佐賀縣立師範學校三、四年生八十名は校長の專横なる處置を憤り同盟休校を爲せり（大阪特電）

◉豺少女を浚ふ 平北寧邊郡八院面加德里農金允弼二女金滿寶（六）は去る十日午後七時頃隣家なる祖父の宅より自宅へ歸る途中突然二頭の大豺現はれ滿寶を咬へ去りたる騷ぎに里民出動搜索したるも行衛不明なりしが翌朝約六丁を離れたる山中に喰ひ殘しの屍體を發見し目下極力驅除勵行中

◉小兒燒死を遂ぐ 慶南陝川郡草溪面大坪里崔應哲（七）方より十七日午後十一時頃發火し居宅二棟を全燒して翌午前二時頃鎭火せり同人伜孫折谷（五）は燒死し應哲も大火傷を負ひ目下加療中原因は煙突の口に枯草を積みありしものに延燒して發火したるものゝ如し

◉雇人は泥棒 京城勸農洞元永煥（三八）は黄金町二丁目印刷屋新文舘事崔昌善方に雇はれ中四月中旬迄は前後數回に亘り活字、鉛等五十餘貫（五十五圓餘）を竊取し一貫五十錢宛にて同町古物商池千奉に賣却したること發覺し本町署に檢擧さる

◉京中北漢山登り 京城中學校にて二十八日午前六時柴崎校長以下職員全部引率の下に七百餘名の全校生徒は勇ましく校門を出發し途を北門にとりて北漢山登りをなし折柄雪交りの降雨中を冒して山頂に登攀し歸路は加五里に出でて東小門より歸校し午後四時校庭にて解散せり

◉立儲御祝品『晴天の鶴』 聖上陛下より東宮殿下に對し立太子御祝品として御贈進あらせらるべき軸物『晴天の鶴』は先般宮內省より京都の畫家山本春擧畫伯に揮毫方御下命あり畫伯は昨今齋戒沐浴揮毫中なるが右は三幅對にして一幅は富士山に鶴他の二幅は何れも山水に鶴を配せしものなりと（大阪支局）

◉世界語の發明者逝く ワルソウの碩學にして世界語エスペラントの發明者たるドクトル、ルドウイヒ、ザーメンホフ氏は死去したり享年五十[illegible]歲（倫敦電報）

◉花見客に繪葉書 鐵道局にては二十九日花見のため牛耳洞に往復する者にて鐵道による花見客に對し繪葉書を配布する由

◉神來畫伯逝去 前後十一回朝鮮に在住し洒麗雄渾の畫風を以て其の名を知られたる天草神來畫伯は今を去る三年前故有知人の勸めに依りて東都に歸り爾來中央の畫壇に擡頭し益々聲價を擧げ來りしが今回不幸二豎の犯すところとなり東京府下巢鴨上駒込二百二十三番地の自邸に於て嗣子國太郎氏外二兒を遺して逝去せり享年四十有五悲むべし

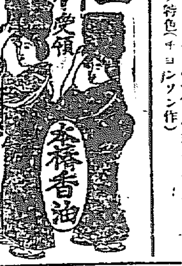
◉植物園の奏樂 二十九日午後一時より午後四時迄昌慶苑內植物苑に於ける李王職洋樂隊の奏樂あり其の演奏曲目左の如し
一、ムジカン行進曲（カール作）二、[illegible] 三、[illegible] 四、[illegible] 五、歌曲アンゴット夫人（ルコック作）六、[illegible] 七、[illegible] 八、行進曲[illegible]（チヨンツン作）

◉午前曇午後晴 二十八日夜京城測候所長の語る所に據れば同夜は少雨降り翌二十九日朝にいたりて歇み曇天を持續して午後に至り晴天を見る可しと

◉新東金剛山の發賣 京城本町鳥居商店に於て特製せる東金剛山は朝鮮名物たる金剛山の松花を以て調味したるものにして其風味は高尚にして滋養に富めりと

神社と御寺と教會

○曹洞宗別院（若草町）二十八日午後八時より宗祖忌法要說教あり 翌廿九日午前九時より藤懇會の例會あり
○京城禁酒會月次演說會（旭町二メソヂスト教會）二十八日（土曜日）午後正八時半より開會 演題（林銑彥君）醫學上より見たる酒害（加納五郎君）
○日本基督教會（長谷川町）二十九日午前九時『日曜學校』同十時『父の神』井口牧師午後八時『山上說教の中心點』同牧師
○救世軍の集會 四月二十八日（土曜日）午後八時百三十銀行前にて『從北滿六年』石島大尉二十九日（日曜）午後八時半永樂町二丁目屋內『[illegible]なる人々』石島大尉
○メソヂスト教會（旭町二）二十九日午前九時 牛西大門外監獄內（京城林業試驗所附近）屋外禮拜說教 午後八時傳道說教『悲哀の[illegible]』藤岡牧師
◉後藤瑞巖師提唱 二十九日午前九時より妙心寺に於て後藤瑞巖師の提唱ある由



金牌受領 男女頭髮香（[illegible]時代遲れ）本椿香油 本椿ポマード 本舖 大阪西横堀 三宅堂

公債株式現物賣買 東京福島商會特約店 京城貞洞百五十三番地（鍾路大廣橋北河岸通）加藤商店 電話二三八一番

ユニオン香水 フケトリ
ユニオン香水 カユミ止
東京 四谷
京城出張店

京日案內
普通一回五十錢 番外一回前金…

●店員二名入用 中島印刷所（電話二一〇八番） 84
花松魚とチヤコの賣出は 京城黄金町三丁目の日新商行 33
當分の間半額 灸按摩治療 本町一丁目 飯田水車製造所 龜居福人 電一三三六 狩野 14ゑ
▽古本 古樂器買受は絶大の信用ある 本町ウツボヤ書店 電二五三 968
●看護婦數名至急募集す 但免狀有する者希望者は履歷書送れ 仁川仲町一丁目 看護婦會 31
●營業者募集 藥行商人募集… 京城明治町二 … 阿波井 19
●融通 月收の御方へ特殊迅速 御通帳有又は御來談 大和町三の三二（柄前）起本屋 27
●古本熱心高價買入 是非御試賣を乞ふ △御樂參上 △本町二 誠書堂 702
●代診入用 京城南大門通り慶銀裏 司生堂醫院 37
●ブラシ製造機械附屬品至急賣却 姓名任託
●金融便宜 官吏教師へ 極秘手形 信用貸 京城本町電車終點北 又は御來談 大和屋質店 905,36
●朝鮮語科 ●英語科 番外 新學期三ケ月修業 各級補缺募集 南大門通漢城銀行向ひ 京城青年會 35
●鑛物各種分析 京城大平町二ノ二參〇（電二八貳三）松永分析所 29
恩給年金長期 最即時立替 全額並金錢兩替 短期保險不要確實融通 京城永樂町一 商品陳列舘前 江州屋本店 16
恩給年金 即時立替 ●勸業債券（五分利）額面以上特別高價買受 銀行爲替、放資之好期不可逸 京城若草町百六番地電話三千十一番 西村商會 905

二代目襲名披露會
浪界の權威！
桃中軒雲右衛門來る
廿九日より五日間限り日延なし
一等一圓廿錢 二等八十錢 三等五十錢
會場 本町一丁目 有樂館 電話二〇五・五九七番

鑛山用測量器械 … シンサキ

◉本羽柾板販賣
△屋根葺材料の福音▽
屋根葺材料節約の爲め特に鴨綠江材にて製造したる本羽柾板の販賣を開始致候本羽柾は葺上げ一坪當り一圓十錢見當にて亞鉛板其他に比し經濟的材料に御座候幹部又は左記特約店へ御用命を乞ふ
京城 三井物産株式會社 木材部

特約店（電話番號）
京城二五一〇〇番 仁川五一九〇番 大二商會
京城四二八番 仁川三三二番 木材商會
京城長七四四番 小森商店
大邱長一六番 杉原材木店
平壤長五〇一番 鎭南浦一〇七番 中村組
釜山一六四番 坂田商店材木部

優等清酒

發賣元 京城永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番 振替京城二六〇二番

魚釣具及投網 問屋 「御申越し次第定價表進呈」 □各種御注文品揃へ候 京城永樂町二丁目 吉備商會 振替京城四三二八番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町電話四二〇番五八 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百四十九　熱と氷と『二十九』の三

『すると何だね、絹さん、お前は僕の事は勿論、世の中の一切を斷念めて盡くして、今では只一生懸命佛の道を修行してる所だと、斯う言ひたいんだね？』

幸三郎は、稍絹代の言つた心持が分りかねたやうに問ひ直した。

『左樣で御座いますの。』と、絹代は諦らなさうに云ふよりも、寧ろ冷かな氣のないらしい語氣で答へた。

『……そりや、什う云ふ譯で然うした氣になつたのかね？』

『什う云ふ譯と申して、倉橋の阿兄さん……そんな事を妾の口から說明しませんでも、今日までの妾の境遇を御覽下さッたら、自然お分りになつてる筈では御座いませんか。で御座いますから、阿兄さん、妾なんかの申すまでもなく阿兄さんも、妾の事は到底緣なき緣とお斷念めになつて、畫の道を一生懸命に御修行になつて下さいまし。妾の生涯のお願ひは、もう〳〵此の外には御座いませんのです。』

絹代は、穴勝男に向つて、意見を加ふるなど云ふ了簡でもなかつたのであるが、幸三郎には、それが何となくその樣にも聞き取れたのであつた。幸三郎は、云ひ知れぬ不愉快さがむら〳〵ッと胸先に込み上げて來たのである。――口では佛の御弟子になつたやうな事を言つて居ながら髮も姿も昨日の儘ではないか？先刻袖子の語の中に……男前が何人へも秘密に此の寺に匿つて置く若い美しい女と云ふのは、恐らく此の絹代の事であらう。袖子は、それを承知の上で言つたのか、但しは偶然であつたかは知らぬが、絹代が今自分に對する態度と云ひ語氣と云ひ、何となく冷かで、そして加之に他人がましい節さへ見ゆるのは、或は既に男前の掌中に丸め込まれて、自分の事は全然心外へ投げ捨てゝ了つたのであらう。勿論、自分自らとしても彼の十二階下の魔窟から絹代を救ひ出さんとして、大失敗を招いた以來斷乎として絹代の事は念頭から忘れ去るべく決心を定めて了つたには違ひないのであるが、人間は飽まで人間であらねばならぬのである。戀は俺までも戀である。偶然にもせよ、人爲にもせよ、斯うして思ひがけな如き態度で『妾も斷念めるから、お前も斷念めて、畫の修行を爲よ』とは、何の語だ？我が絹代ばかりは、然うてそんな浮薄な精神の女ではなかつた筈であるが、流轉淪落の極度は遂に性根までも腐敗し盡くしたのかも知れない――刹那の間ではあつたが、幸三郎の胖雪は、一概に只斯う思ひ込んで了つたのである。

『……おい、絹さん。』

『何で御座います、阿兄さん。』

心なしか、斯う問ひ返した絹代の眼は、一種蔑みの光をさへ帶びて居るやうに幸三郎には感ぜられた。

『何で御座いますではない。』と、幸三郎は、泥ぼつけの衣服を肩まで突て、じり〳〵ッと思はず膝を五六寸乘進めた。

『だッて、阿兄さん、他にお答への仕樣はないぢや御座いませんの。』

『外に答へはないと言ふんだねッ。』

幸三郎の聲は烈しく顫へた。

『阿兄さん、お怒りになる譯はないでせう。妾は心からもう此の世の中へ、責め苛まれる爲めに生れて來たものと觀念しましたから、人間一切の望みを絶ち、死んだ氣になつて佛樣にお仕へ申さうと云ふ覺悟で居りますんです。それを阿兄さんに有の儘にお打明けしたのが、何でわるいんで御座いませう。』

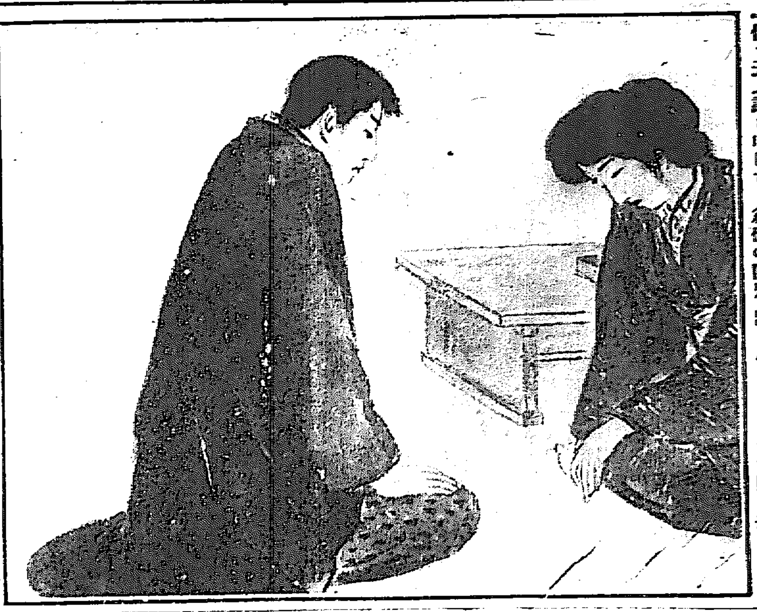
決心も決心、覺悟も覺悟であるが、幸三郎の疑心を抱くまでもなく、絹代の人格その者が既に十二階下以前とは、大々的變化を來して居るのである。從つて、その言ふ所も卽ち一面には冷靜の如くにも聞ゆ、又一面には大人びた高慢ちきなやうにも思はれるのである。

『わるいとは言はん、意志は人間の自由だからね、だがね、絹さん、お前は元、來僕を誰だと思つてゐるんだね？』

『妙な事をお訊きになりますわね。貴君は妾の稚い時から許婚の倉橋の阿兄さんと云ふ事はちやんと承知して居ますわ。』

『それを承知して居るにも拘はらず自分勝手に事を取極めて了ふと云ふ法があるかね。』

幸三郎の額からは、油汗がぼた〳〵と流れた。



メリヤス專門　京城本町二丁目電話六一四番　尾張屋メリヤス店

產婆榎田習代　京城黄金町二　電話一一四八

干菓類逸品　人蔘マルモラード　松質ケンデー　栗納豆　三色納豆　朝鮮京城本町二丁目　青木商會製菓部謹製　電話二三八〇番

◇湯殿から悲鳴
油斷大敵』愛兒の火傷

母親がお化粧に夢中になつてゐる間に小供が錢湯の洗ひ場で辷りこけて怪我をした實例は澤山ありますが風呂場で小供に取り危險な事は唯に錢湯許りでない　某氏の宅では内風呂を立てて之で可愛い子供も安全だと思つてゐると某日未だ誰も入つてゐない湯殿から消魂しい悲鳴が聞れたので奥樣が怪しみ駈付て見ると沸々たぎり立てゐる湯槽の中に今年四歲の愛孃が衣物を著た儘目もあてられぬ形で打倒れてゐる體に奥樣は氣も顛倒し乍ら救ひ揚げて見ると愛孃は全身湯に爛れて間もなく縡切てしまひ幼い靈は喚べども返らず兩親は鎖魂のなげきに鎖されて一家の愁雲は却々に晴れません斯る不測の兇は何故起つたかと申しますと此事の起る少し前女中の某がお孃樣を入浴せしめやうとして湯の加減を見ると手もつけられぬ熱さにお孃樣の衣類を半解き置きて水を取りに行つた間にまだ頑是のないお孃樣は衣類を著た儘湯槽の中に入つたからであります畢竟は女中の過失で夫が爲め件の

◎女中は心痛の餘　發病して床に就きながら只管悔の淚に身も浮く許りでございますが愛兒に對する責任と云ふ事を考へますと强ち女中一人を責むることは出來ません父母たるものは理智と愛情を基礎として愛兒の安全を期せねばなりません

春雨　破翁

石鹸皆花めぐらして春雨す
柳の精も春雨頃に生きたらん
春の雨旗竿に止まる蒼かな

新刊紹介

▲世界を家として（大備可公著）大正名著文庫第二十九編として出版されたる見にて旅行中の文章雜感とも見るべし足跡普き著者の視察眼と輕妙なる筆致とは讀者をして倦ましめざるを疑はず（一圓三十錢東京市日本橋區本石町三至誠堂書店）

▲雄辯（五月號）稻葉君山氏『支那社會事業と日本』高田早苗博士『英國政治家の末路』鈴木文市氏『ストライキ論』[illegible]等の外十餘[illegible]京本郷駒込坂下町四八大日本雄辯會）

▲新聞年鑑（創刊號）主として東京大阪兩朝日報に依り其他東西各地の時報を探錄して世界の情勢より帝國の内治外交產業經濟文藝逐動商況雜錄等に至る迄荀も存錄に價するもの悉く包羅類別して十八篇と爲し更に部門を分ち日を逐ひ類に從ふて通讀一過明晰の記憶を得るに便ならしめたり本誌収むる所は二十日より本年一月二十六日に至る誠に社會各階級を通じて實務家の座右に備ふべき好著たるを失はず（八十錢東京牛込辨天町九八宏遠社出版部）

▲會計（創刊號）會計に關する諸般の研究を爲さんが爲めに生れたるもの貸借對照表の形式な論文（下野高商教授）英店會計組織の概念（金子商學士）貨幣の價値と會計とに就て（中村明大教授）發行引受組合の形式及び計算（松村商學士）創業費を資產に貸借對照表に計上する慣例を論ず（志田博士）其他とるべきもの多し（二十五錢東京神田明大學出版部）

▲朝顔種子分與　長野縣下高井郡中野町高井農園にては夏季の愛玩用として新界の賞讃を受けつゝある雄大壯麗の大々輪を初め唐花牡丹咲水牡丹櫻切采咲牡丹細管咲の一文字咲獅子總風鈴獅子細切采咲極優秀の十二種類を一纏めにして極めて優秀なる種子十二袋實費送料共二十錢にて又斷新奇花なる百廿種卅入一袋十錢の實費を送れば直に分與すると云ふ

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.50.

芳香醇良なる本邦產天然葡萄酒を基礎とし
完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

◯ミツワ規那鐵葡萄酒

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶

滋養强壯料

規那、鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、强壯等の諸効驗を擧ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且つ愉快に用ふることを得て、而かも確實に消化吸收せられ、其の効價の益增大することは既に公知の事實に屬す。其の製法不當なるか、或は其の品質不良ならんか、之を服用するも啻に無効なるのみならず、却て不快なる結果を齎らすことなきを保たざるなり。本品は欧に於ける諸製品並に最新の學說に就て調査研究を重ね、由緖ある天然葡萄酒を基礎とし、著色料を用ひず、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、專ら香味の佳良なる點を選び、又永く貯藏するも變敗する憂なく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、强壯の効力を一に集め、嗜好品の如く、殊に女子、小兒の佳香美味を具へ、食慾缺乏、慢性の胃病、貧血、萎黃病、神經衰弱、精神の困憊並身體の疲勞を回復し、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並病後の衰弱、發熱、下痢等に際して適用すべき無比の滋養強壯料たると同時に、元氣横溢精力增進を欲する場合に推奬すべき絶好の家庭必需品なり。

定價一壜金壹圓七拾錢

（現品寫眞圖）

ミツワ石鹸　◯　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目　振替東京一七一〇番　丸見屋商店　電話浪花三四八四、四九四、四五〇番

ミツワ石鹸

MITSUWA SOAP.

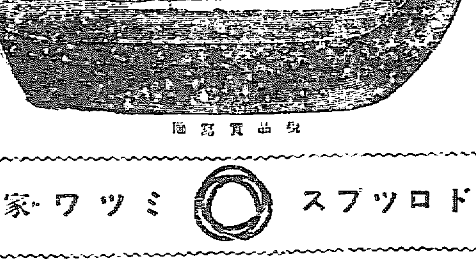
The pure soap, from chemical point of view, should dissolve trnsparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, or nursery.

純正の石鹸は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の洗渣をも殘留せず、更に『フェノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹸なりとす。皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、特に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

◯ミツワ石鹸は

化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。
一、温雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし
卽ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衞生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。



（現品寫眞圖）

價目 [illegible]

肝油ドロップス　◯　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目　振替東京一七一〇番　丸見屋商店　電話浪花特長四四八番、四四九番、四五〇番、三〇三番

商况

大阪期米（廿八日後場）

	當限	中限	先限
寄付	—	一六、一〇	一六、五七
高値	—	[illegible]	一六、六〇
安値	—	一六、〇三	一六、五七
止め	—	一六、〇五	一六、五七

[illegible]れたるが[illegible]は又賣物多く〇七錢と押して[illegible]大阪正十二錢の移りなるも九錢と返し入[illegible]依然保合の裡に散會

▲依然保合　天候[illegible]大阪の[illegible]

▲全く賣る　[illegible]

▲富限を送る　[illegible]

▲現物界　[illegible]

二十八日の六月限　[illegible]